

D-Scripto 操作説明書

(Ver1.**)

<目次>

このソフトを利用のご注意点

ソフトの紹介

言語の切替

操作方法

- 1・初期設定(環境設定)
- 2・初期設定(スクリプト設定)
- 3・初期設定(ファイル読込時)
- 4・処理する図面ファイルを読み込む
- 5・読込後の編集
- 6・スクリプトの実行
- 7・ファイル名で初期値を変更
- 8・レイアウト印刷する方法(Ver1.03)
- 9・その他の機能
- 10・スクリプトファイルの作成のみ
- 11・リストビューのファイルを上下に並び替え
- 12・トラブルの原因と対応方法
- 13・ご意見などの連絡先

【ソフトの使用でのご注意点】

ご使用の前に、必ずこのページをお読みください。

このソフトは、企業ではなく個人で作成した物です。
個人で使用していましたが、期間限定で公開します。
動作保証はありません。各自で動作確認するようにお願いします。

使用条件及び免責について

御使用されるための契約として
本プログラムの使用にあたっては、使用者自身の責任の下に行ってください。
作者は何の保証もしませんし、本プログラムを使用したことによって生じた損害を補償する義務も負いません。
このソフトウェアを使用して個人または団体が直接あるいは、間接的な損害を受けたとしても作者は一切の責任を負いません。

このソフトを起動した時点で上記を同意したとします。
同意されない方は、このソフトやダウンロードした内容を削除して下さい。

【ソフトの紹介】

このソフトは、イニシャルがDのCADファイル(DWG や DXF)をCADソフトのスクリプト処理を利用して連続処理をファイル単位で行うソフトです。
イニシャルがDのCADファイルとは、DWGファイルや DXF ファイルの事です。
このソフト以外にスクリプト処理が出来る CAD ソフトが必要です。
この CAD ソフトは付属していませんので各自で準備をお願いします。
有名な CAD ソフトとしてオートキャドやブリックスなどありますね。
また、正しく動作させるためには、環境設定で使用するCADソフトに合うスクリプト設定を行う必要があります。
作者があらかじめ、数種類のスクリプト設定を行っています。
あなたが使用しているCADソフトに合っているかわかりませんが設定してあります。
下記の5種類を設定してあります。

- 1・印刷(1): 詳細設定で Dwg やDxfファイルを連続印刷します。
- 2・印刷(2): 簡易CADソフト LT 版で、連続印刷します。
- 3・印刷(3): 前回印刷した内容で Dwg やDxfファイルを連続印刷します。
- 4・DWG を DXF に変換
- 5・DXF を DWGに変換

スクリプト設定は20種類の設定が出来ます。

【動作環境】

- 1・マシーンは Windows パソコンを使用する事
- 2・OS は Windows の64ビット版である事
例: 8. 1や10などで64ビット版に対応します。
- 3・CAD ソフトがインストールされている事
DWG や DXF ファイルでスプリクト処理出来るソフトウェア
- 4・印刷する場合はプリンタと接続してある事
- 5・記憶媒体に空きがある事

【インストールの方法】

インストールはありません、解凍して実行ファイルを起動するだけです。

一般的は作業内容

- 1・管理しやすいところで新規にフォルダを作成する
- 2・そのフォルダ内に解凍
解凍ソフトは各自で準備する事。(Zipで圧縮しています)
- 3・ショートカットの作成
使いやすい場所にショートカットを作ってデスクトップなどに置いてください。

【アンインストールの方法】

アンインストールもありません、実行ファイルや設定ファイルを削除するだけです。

一般的は作業内容

- 1・インストールで作成したにフォルダを削除する
- 2・フォルダ以外に設定ファイルを保存しているのなら、それも削除する
- 3・インストール時に作成したショートカットを削除する

【ファイルの構成】

D-Scriputo.exe	実行ファイル
D-Scriputo .ini	環境設定ファイル
listview.ini	メイン画面のリストビュー情報ファイル
wchar.ini	多国言語用文字ファイル
spRCT_set_j.ini	スプリクト設定ファイル(日本語用)
spRCT_set_e.ini	スプリクト設定ファイル(英語用)
spRCT_set_k.ini	スプリクト設定ファイル(韓国語用)
spRCT_set_c.ini	スプリクト設定ファイル(中国語用)
EndFile.dwg	最終図面で CAD ソフト終了するために必要

【言語について】

このソフトは、多言語（日本語・英語・韓国語・中国語）に対応しています。
私は日本人で、他国の言語はまったくわかりませんので、翻訳ソフトを使用しました。
よって、意味がマッチしていないかも知れません。ご勘弁を。

【ソフトウェア使用許諾契約】

1・ライセンス

- 1) このソフトはフリーソフトとして公開しています。ご自由にご利用ください。

2・免責

- 1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、使用者自身の責任の下に行ってください。作者は何の保証もしません。
- 2) 本ソフトウェアを使用したことによって生じた損害を補償する義務も負いません。
- 3) このソフトウェアを使用して個人または団体が直接あるいは間接的な損害を受けたとしても作者には一切の責任を負いません。
- 4) 本ソフトウェアをダウンロード、インストール、使用又は利用した結果、ハードウェア又はデータに支障が生じた場合等、本ソフトウェアに起因し又は関連して損害が発生した場合であっても、作者は一切責任を負いません。本ソフトウェアを複製し、組み込み又は改変したソフトウェア及びこれらを使用又は利用して作成されたソフトウェアについても同様とします。

3・対象ソフトウェア

- 1) 対象となるソフトウェアは、このダウンロードしたソフトウェアです。

4・権利

- 1) 本ソフトウェア及びマニュアルやドキュメントの著作権は BitDeviser にあります。

5・禁止事項

- 1) 本ソフトウェアの使用権を第三者に貸与、譲渡、リース、レンタル、サブライセンスすること。
- 2) 本ソフトウェアを改変したものをネットワーク上で配信すること。
- 3) 本作者名を名乗り勝手に配信やサービスを行うこと。
- 4) 無許可で他ネットへの転載、再配布、雑誌の CD-ROM 等への収録に関しては禁止します。

【初期設定】

初期設定・初回に起動したとき

初めて起動した場合メッセージが出て、セットアップする必要があります。

これは、このアプリを動作するために必要な操作です。

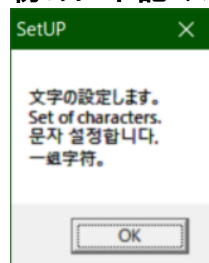
必ず最後まで実施して下さい。

この操作が終われば、その内容を環境設定として「D-Scripoto.ini」に保存します。

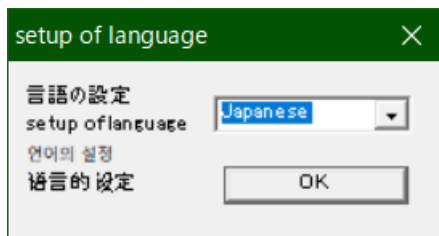
2度目からの起動は、「D-Scripoto.ini」を読み込み起動します。

別のパソコンへこのソフトを移動される場合は、D-Scripoto.ini は移動しないで、再セットアップして下さい。

初めに下記のメッセージが出ます。(まずは言語を設定します。)



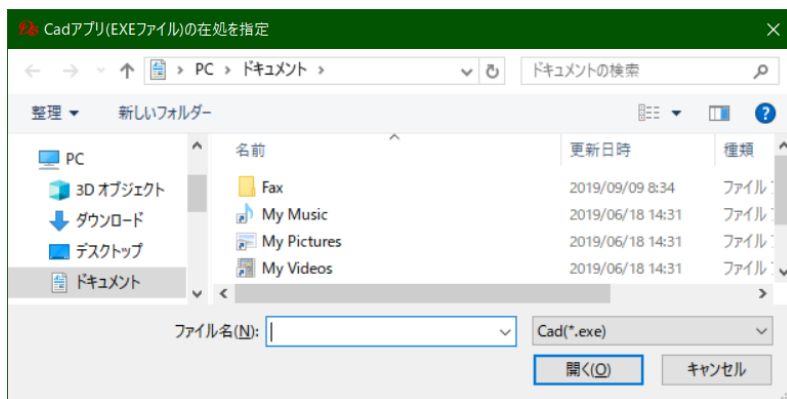
ここでは OK をクリックします。



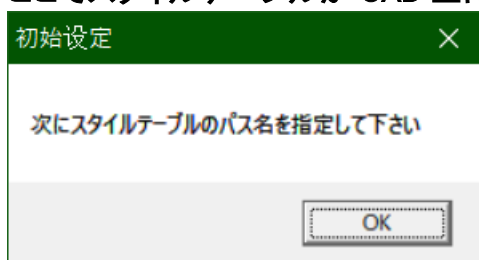
ここでは、日本語・英語・韓国語・中国語を選んで、OK を押します。



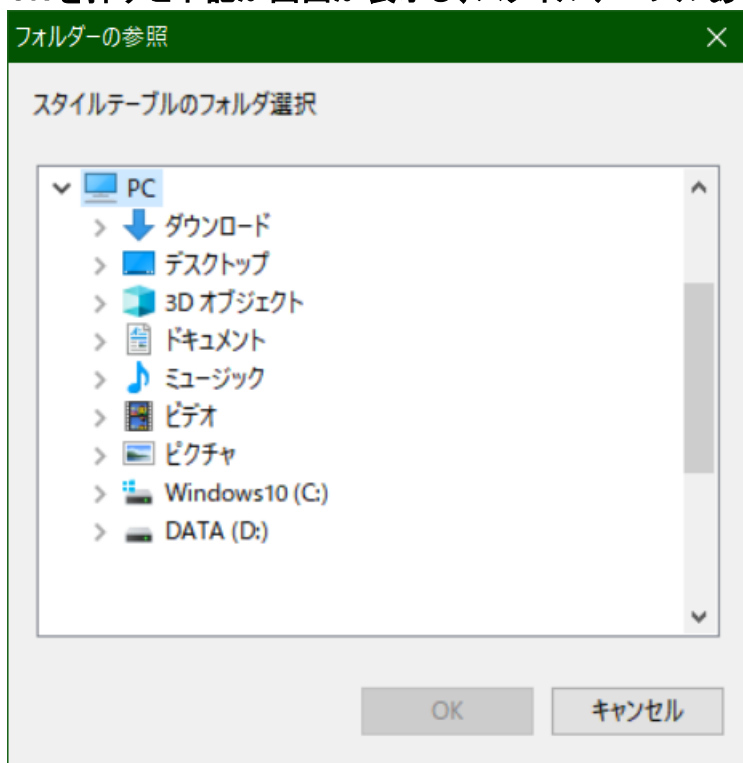
次に CAD のアプリを指定しますので OK をクリックします。



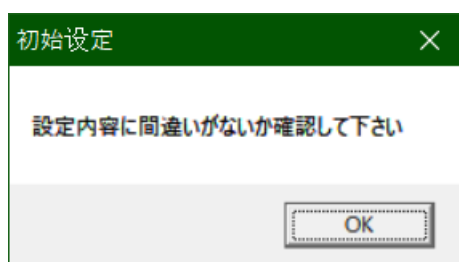
ここで、Cad アプリの実行ファイル(Exe ファイル)を選んで「開く」を押します。
 (Cad アプリとは DWG や DXF ファイルでスプリクト処理出来るソフトウェア)
 ここでスタイルテーブルが CAD 上にはない場合は下記の画面が表示します。



OK を押すと下記が画面が表示し、スタイルテーブルあるフォルダを設定して下さい。



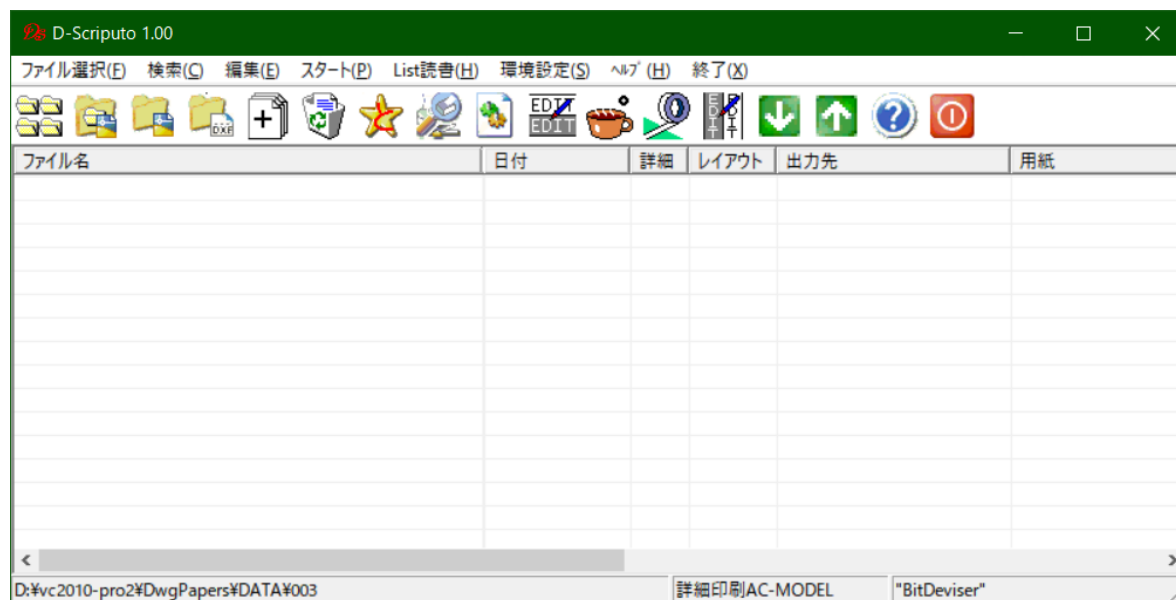
次に下記の画面が表示します。



これで設定は完了しましたので、OKを押し内容を確認して下さい。



内容を確認出来たら、OK を押して下さい。



で上記の画面が立ち上がり、初期立ち上げ作業完了です。

【操作説明】

1・環境設定



初期設定で行った内容と同様になりますが、ここでは、環境設定の詳細について説明します。
環境設定は D-Script を正常に動作させるために大切な設定です。
正しく設定していないと動作しません。

メニューの「環境設定」の「環境設定」をクリックすると以下の画面が表示する

<重要設定>

以下の項目を正しく設定しないとこのアプリは動作しません。

1・CAD の EXE ファイルのパス名

CAD のアプリケーションの実行ファイルのパス名を指定します。

これを正しく設定しなければ、動作しません。

D-Script のアプリは CAD アプリのスクリプトを利用して動作するので、パス名が正しくなければ、CAD アプリが立ち上がりずスクリプト処理しません。

設定方法は「dir」のボタンを押して CAD アプリの実行ファイルを選んでして下さい。

もちろんですが、CAD アプリがインストールされてなければ、この D-Script は動作しません。

2・スタイルテーブルのパス名

スタイルテーブルとは CAD アプリの印刷スタイルの事です。

そのスタイルテーブルのファイルがあるパス名(フィルダ先)を設定して下さい。

正しく設定されなかったら、印刷時にスタイルテーブルの設定が出来ません。

一般的には「Plot Styles」のフォルダ内にスタイルテーブルのファイルがあるようです。

スタイルテーブルのファイルの拡張子は「ctb」になるようです。

設定方法は「dir」のボタンをおしてそのフォルダ先を設定出来ます。

3・実行スクリプトファイルのパス名

スクリプトファイルを作成するパス名を指定します。

存在するパス名を設定して下さい。

正しく設定されなかったら、スクリプトファイルが作れずに動作しません。
設定方法は「dir」のボタンをおしてそのファイル名をクリックして下さい。

4・Endfile.Dwg のパス名

ファイル「Endfile.dwg」が存在するパス名を指定します。
ファイル「Endfile.dwg」は、圧縮ファイルに添付されているファイルです。
このファイルは、スプリクト終了時に Endfile.dwg を読み込んで動作をするために必要です。
これを正しく設定してなければ、CAD アプリが起動したままになります。
設定方法は「dir」のボタンをおしてそのファイル名をクリックして下さい。

<禁止プリンタ>

使用しないプリンタの用紙を無効(用紙の表示が「Prohibition」になる)します。
これは、用紙を列挙した際に関数が返ってこないドライバーが存在する時に使用します。
用紙を列挙際にいくら待っても終わらないプリンタを設定して下さい。

設定方法

禁止プリンタ入力の EditBox に禁止するプリンタ名を入力します。
入力文字は、列挙したプリンタ名と同じ文字列にして下さい。(間のスペースなども)
文字列がまったく一緒でなければ禁止プリンタになりません。
禁止プリンタが設定されると、列挙や表示時に禁止プリンタが設定されているメッセージが表示しますが、「使用禁止の Dialog 表示をしない」にチェックを入れるこのメッセージは出なくなります。
禁止プリンタを解除する場合は、禁止プリンタの ListBox で解除したいリストを選んで「解除」のボタンを押すと禁止プリンタの ListBox から項目が削除します。

<用紙の種類の設定>

プリンタを列挙中に使用できる用紙の種類も列挙しますが、このアプリが記憶できるのは63種類です。プリンタ側63種類以上用紙種類を持っていた場合、63種類以上というメッセージが表示され、63種類以上は記憶されません。
この場合、印刷に必要なAサイズやBサイズの用紙種類が取得出来ない事もあります。
「用紙種類を A0・A・A2・A3・A4・A5・A6～・B0・B1・B2・B3・B4・B5・B6～のみにする」のチェックを入れると A0・A・A2・A3・A4・A5・A6～・B0・B1・B2・B3・B4・B5・B6～のみ用紙のみ記憶され、それ以外は記憶されず種類が Max63種類内になります。

<環境設定の保存>

環境設定の内容はアプリ終了時、「D-Script.ini」のファイルに保存します。
再度起動した際に再設定は不要です。

2・スクリプト設定

このアプリはスクリプト設定をしなければ何も出来ません。
一から設定するもの大変なので、あらかじめ、6種類準備しました。
これ以外も設定は可能です。各自追加設定をして見てください。
このスクリプト項目は20種類まで設定出来ます。

2-1スクリプト項目の選定

スクリプト項目の選定

メニューの「環境設定」の「スクリプト設定」をクリックすると以下の画面が表示する
(メイン画面のリストビューに何も表示されて状態で操作して下さい。
表示させている場合はごみ箱マークで全クリアして下さい。)



Comboxで項目を選んでOKを押せば、そのスクリプト項目になります。

あらかじめ登録されているスクリプト項目

1・詳細印刷 AC-MODEL

CAD ソフトを使用して Dwg/Dxf を連続印刷する。
印刷前に詳細な設定が可能で、MODEL のみ対応します

2・詳細印刷 LT-MODEL

CAD ソフトの LT 版を使用して Dwg/Dxf を連続印刷する。
印刷前に詳細な設定が可能で、MODEL のみ対応します

3・簡易印刷

CAD ソフトを使用して Dwg/Dxf を連続印刷する。
印刷の設定は、前回印刷された設定で印刷します

4・修復 AC2009M

CAD ソフトを使用して壊れたファイルを連続で修復する。

5・dxf16 変換

CAD ソフトを使用して Dwg ファイルをDxfファイルに連続で変換する。

6・dwg 変換.

CAD ソフトを使用してDxfファイルを Dwg ファイルに連続で変換する。

7・レイアウト印刷 (Ver1.03 で追加).

CAD ソフトを使用してDxfファイルを Dwg ファイルに連続で変換する。
MODEL では印刷しません。レイアウトで連続印刷する。

ここで「詳細設定」を押す。スクリプト設定が可能です

2-2スプリクトの設定

メニューの「環境設定」の「スクリプト設定」で詳細設定のボタンをクリックすると以下の画面が表示する

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							open
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	60						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						DocuPr...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A1 (594...	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	E:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジ...	D:図面	L:表示			E:オブジ...	
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	シェーディング	3:1文字	4:初期値	2:選択	80	A:表示	W:ワイ	H:隠線	V:表示	V:表示	A:表...	
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	ページ設定	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字 出力モード 表示モード 編集モード 幅 セレクト文字 初期設定 コマンド

☐ 有

新規 読出 書換 削除

複製 貼付 消 読 保

閉じる

スクリプト項目は最大20個(20ページ)、設定出来ます。

1項目(1ページ)で50個のコマンド類が設定出来ます。

「<<」と「>>」をクリックすると項目(ページ)が切り替わります。

「<<」と「>>」の間の No.表示は項目(ページ)番号の表示です。

0~19まで可変します。

「>>」の横の「有」チェックBOXはこの項目(ページ)を有効にするという意味です。

リストビューに設定してもこの「有」チェックBOXがOFFなら未登録になります。

必ず設定したら「有」チェックBOXをONして下さい

その横の EditBox は項目(ページ)のタイトル名です。

その横の「複製」・「貼付」・「消」は項目(ページ)単位で実行します。

「読」のボタンは外部ファイルからリストビューに取り込む処理です。

コマンド類の項目の編集

1・新規作成

「有」チェックBOX・項目文字・出力モード・表示モード・編集モード・幅・セレクト文字・初期設定・コマンドを設定して「新規」のボタンを押すとリストビューに追加します。

2・読出

選んだリストビューの内容を「有」チェックBOX・項目文字・出力モード・表示モード・編集モード・幅・セレクト文字・初期設定・コマンドに読み出します。

リストビューの内容を変更するのに使います。

3・書込

「有」チェックBOX・項目文字・出力モード・表示モード・編集モード・幅・セレクト文字・初期設定・コマンドを設定して「書込」のボタンを押すと選んだリストビューに書き換えます。

読出とセットで使うとリストビューの内容を変更出来ます。

4・削除

選んだリストビューの内容を削除するとき「削除」ボタンを押します。

5・「有」チェックBOX

これは、項目文字・出力モード・表示モード・編集モード・幅・セレクト文字・初期設定・コマンドを有効にするボタンです。

このチェックBOXがOFF場合は、それ以降の内容は無効となります。

6・項目文字

項目文字は、リストビューのカラムの文字です。

また、初期設定の項目の文字列になります。

7・出力モード

出力モードは、無・コマンド+パス名・コマンド・1文字・全文字を設定します。

スクリプトファイルに出力する設定内容です。

無は、リストビューの項目に使用しスクリプトファイルには出力しません。

コマンド+パス名はOPENなどコマンドに使います。

コマンドの文字は(CLOSEやPLOT など)EditBoxに設定します。

1文字は、初期値に設定したYES やNO などの先頭文字の1文字を出力します。

全文字は、初期値に設定したスタイル名などの文字を全て出力する

8・表示モード

表示モードは、無・ファイル名・フォルダ名・日時・初期値を設定します。

ファイル読込時、リストビューに表示する内容初期設定の表示する内容です。

ファイル名はファイル読込時のファイル名です。

フォルダ名はファイル読込時のフォルダ名です。
日時はファイル読込時の更新日時です。
初期値は出力モードで設定した初期値を表示します。

9・編集モード

編集モードは、無・Text・選択・出力先・用紙・スタイルを設定します。
リストビューや初期設定の内容を編集するとき設定内容です。
Textは、EditBoxが表示され、テキスト入力出来ます。
選択は、ComboBox が表示され、セレクト1～5で設定した文字が表示され選べます。
出力先は、OS が認識したプリンタ名を表示され選べます。
用紙は、OS が認識したプリンタの用紙名を表示され選べます。
プリンタ名や用紙の種類はメニューのプリンタと用紙の列举を実行した内容です。
スタイルは、環境設定で指定したフォルダ内のスタイルテーブルが表示され選べます。

10・幅

リストビューのカラムの幅を設定します。

11・セレクト1～5

編集モードで選択を設定した場合に、リストビューや初期設定・編集などの編集時に
ComboBox に入れる文字で最大5種類の設定が可能です。

12・初期値

表示モードで初期値時、ファイル読込時のセットする文字です。
初期値を何も入れない方法も可能です。
スクリプトの中にはそのままリターンさせたいときは、
初期値なしにすれば良いです

13・コマンド

出力モードでコマンド+パス名又はコマンド時、
ファイル読込時のセットする文字(コマンド)です。

2-3スクリプトの作成方法

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
---	------	----	----	----	---	-------	-------	-------	-------	-------	-----	------

項目文字: ファイル名 出力モード: 0無 表示モード: 1:ファイル名 編集モード: 0無 幅: 320 初期設定 コマンド

新規 読出 書換 削除 上/下矢印 << No6 >> ☒ タイトル 編集の仕方 複写 貼付 消 読 保 閉じる

＜新規登録する＞

赤○の部分の入力エリアに設定を行う

又、青○の部分の入力エリアも設定しておく

チェックBOXをONすることを忘れないようにする

ここで「新規」をクリックする

下記のようにリストビューに入ります

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							

項目文字: ファイル名 出力モード: 0無 表示モード: 1:ファイル名 編集モード: 0無 幅: 320 初期設定 コマンド

新規 読出 書換 削除 上/下矢印 << No6 >> ☒ タイトル 編集の仕方 複写 貼付 消 読 保 閉じる

すでにリストビューに項目登録されていた場合

「新規」のボタンを押すと一番最後に入ります。

<編集する>

スクリプト詳細設定

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							open
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	60						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						DocuPr...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A1 (594...	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	E:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジェクト	D:図面	L:表示			E:オブジェクト	
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	シェーディング	3:1文字	4:初期値	2:選択	80	A:表示	W:ワイ	H:隠線	V:表示	V:表示	A:表...	
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	ページ設定	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字 出力モード 表示モード 編集モード 幅 セレクト文字 初期設定 コマンド

☒ 有 [ファイル名] 0:無 1:ファイル名 0:無 320

新規 **読出** 書換 削除 上 下 << No0 >> ☒ 有 タイトル 詳細印刷AC-MODEL 複写 貼付 消 読 保 閉じる

リストビューの行をマウスでクリックする
 ここで「読出」をクリックすると下記ようになる

スクリプト詳細設定

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							open
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	60						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						DocuPr...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A1 (594...	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	E:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジェクト	D:図面	L:表示			E:オブジェクト	
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	シェーディング	3:1文字	4:初期値	2:選択	80	A:表示	W:ワイ	H:隠線	V:表示	V:表示	A:表...	
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	ページ設定	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字 出力モード 表示モード 編集モード 幅 セレクト文字 初期設定 コマンド

☒ 有 [レイアウト] 4:全文字 4:初期値 1:text 60

新規 **読出** 書換 削除 上 下 << No0 >> ☒ 有 タイトル 詳細印刷AC-MODEL 複写 貼付 消 読 保 閉じる

青○の部分から赤○のエリアへ読み出される

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							open
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	60						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						DocuPr...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A1 (594...	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	E:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジ...	D:図面	L:表示			E:オブジ...	
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	シェーディング	3:1文字	4:初期値	2:選択	80	A:表示	W:ワイ	H:隠線	V:表示	V:表示	A:表...	
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	ページ設定	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字

出力モード

表示モード

編集モード

幅

セレクト文字

初期設定

コマンド

☒ 有
 レイアウト
 4:全文字
 4:初期値
 1:text
 100
 詳細印刷AC-MODEL
 複製
 貼付
 消
 読
 保
 閉じる

赤○の部分修正し、リストビューの行を選んで、「書込」をクリックすると下のように変更される

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							open
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	100						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						DocuPr...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A1 (594...	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	E:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジ...	D:図面	L:表示			E:オブジ...	
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	シェーディング	3:1文字	4:初期値	2:選択	80	A:表示	W:ワイ	H:隠線	V:表示	V:表示	A:表...	
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	ページ設定	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字

出力モード

表示モード

編集モード

幅

セレクト文字

初期設定

コマンド

☒ 有
 レイアウト
 4:全文字
 4:初期値
 1:text
 100
 詳細印刷AC-MODEL
 複製
 貼付
 消
 読
 保
 閉じる

<削除する>

スクリプト詳細設定

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							open
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	100						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						DocuPr...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A1 (594...	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	L:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジ...	D:図面	L:表示			E:オブジ...	
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	シェーディング	3:1文字	4:初期値	2:選択	80	A:表示	W:ワイ	H:隠線	V:表示	V:表示	A:表...	
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	ページ設定	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字 出力モード 表示モード 編集モード 幅 セレクト文字 初期設定 コマンド

☒ 有 レイアウト 4:全文字 4:初期値 1:text 100 MODEL

新規 読出 書換 削除 上 下 No0 有 タイトル 詳細印刷AC-MODEL 複写 貼付 消 読 保 開じる

削除したいリストビューの行を選択し「削除」をクリックすると下のよう

スクリプト詳細設定

ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							open
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	100						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						DocuPr...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A1 (594...	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	L:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジ...	D:図面	L:表示			E:オブジ...	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	シェーディング	3:1文字	4:初期値	2:選択	80	A:表示	W:ワイ	H:隠線	V:表示	V:表示	A:表...	
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	ページ設定	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字 出力モード 表示モード 編集モード 幅 セレクト文字 初期設定 コマンド

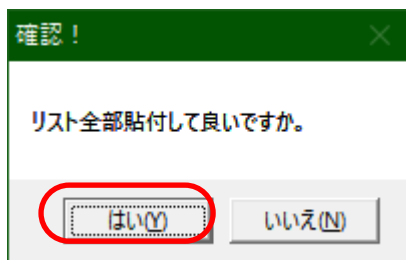
☒ 有 レイアウト 4:全文字 4:初期値 1:text 100 MODEL

新規 読出 書換 削除 上 下 No0 有 タイトル 詳細印刷AC-MODEL 複写 貼付 消 読 保 開じる

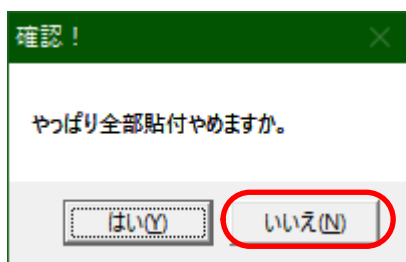
赤○の部分で1行削除されている

1ページを6ページへ複写します。





上記のようなメッセージが出る「はい」と押す



もう一度、メッセージが出るので「いいえ」と押す
2度でるのは、間違い防止で任意がなければ、貼付しません。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							OPEN
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	60						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						Adobe ...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A3	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	E:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジェクト ...	D:図面	L:表示			E:オブジェクト ...	
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	隠線	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	F書き	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	も保	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字
出力モード
表示モード
編集モード
幅
セレクト文字
初期設定
コマンド

☐ 有

☐ 有

☐ 有

☐ 有

☐ 有

☐ 有

☐ 有

☐ 有

新規
 読出
 書換
 削除
 ↑
 ↓
 <<
 No6
 >>
 有
 タイトル
名前を入れる
 複写
 貼付
 消
 読
 保
 閉じる

上記のように複写されるが、青○の部分でチェックBOXをONすると
タイトル名を入れることをさすれないようにして下さい。
ページのタイトル名は他ページにない名前にして下さい。

<ページを削除する>

6ページを削除します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							OPEN
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	60						MODEL	
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						Adobe ...	
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A3	
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	E:インチ				M:ミリ	
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジェクト	D:図面	L:表示			E:オブジェクト	
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	
ON	隠線	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	も保	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	

項目文字 出力モード 表示モード 編集モード 幅 セレクト文字 初期値設定 コマンド

☐ 有 ☒ 有 名前を入れる

赤○の

部分でページ3にして、「削」のボタンを押す。

確認！

リスト全部消して良いですか。

上記のようなメッセージが出る「はい」と押す

確認！

やっぱり全部削除やめますか。

もう一度、メッセージが出るので「いいえ」と押す

2度でるのは、間違い防止で任意がなければ、貼付しません。

＜外部ファイルから取り込む＞

作者から登録用の外部ファイルとして配信する予定です。
この外部ファイルをページとして取り込む場合使用します。

例)、DXFからDWGへ変換するスクリプトを設定した外部ファイルをこの機能によってページ6へ取り込む

[illegible]

赤○の部分でページ6にして、「読」のボタンを押す。

確認！

部分スクリプトを讀込めますか。

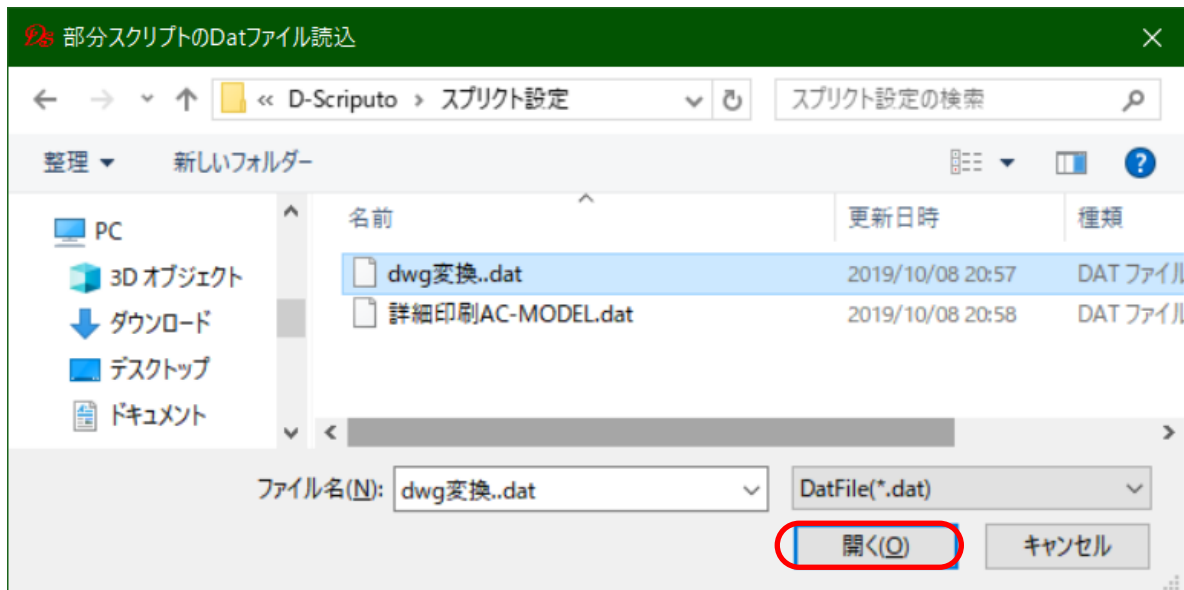
はい(Y) いいえ(N)

上記のようなメッセージが出る「はい」と押す

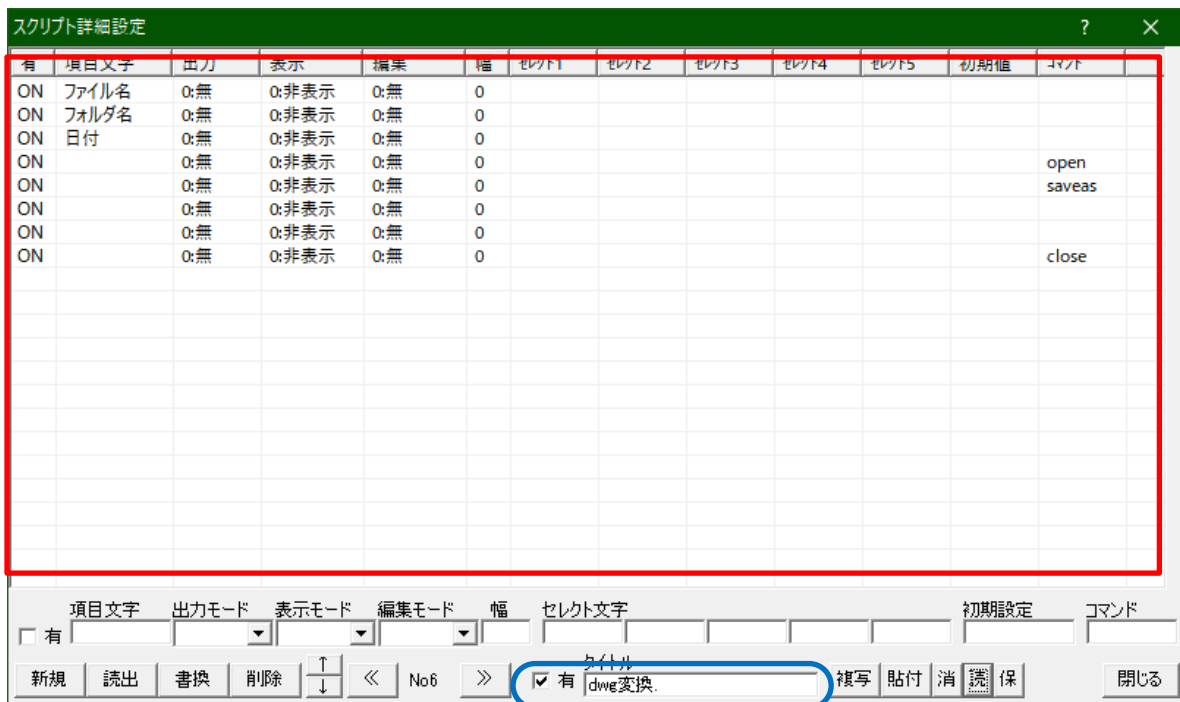
確認！

やっぱり読込やめますか。

もう一度、メッセージが出るので「いいえ」と押す
2度でるのは、間違い防止で任意がなければ、貼付しません。



ファイル「dwg変換. dat」を選んで「開く」をクリックする

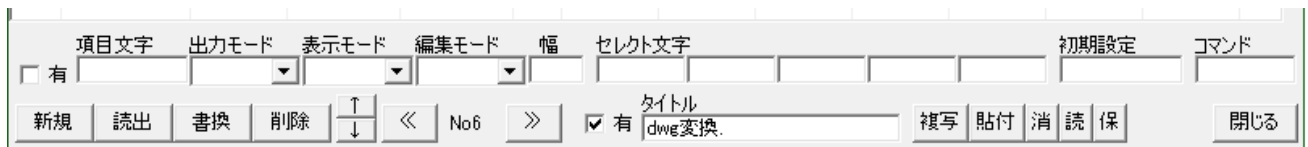


上図の

赤○のようにリストビューに設定されます。

注意事項で青○の部分は自分で設定して下さい
 タイトル名は自分のわかりやすいタイトルにして下さい
 又、チェックBOXをONして下さい
 OFFのままですと終了すると内容が破棄されます。

＜その他の機能＞



上図の赤色の部分の機能

矢印上下のボタンは、リストビューで項目を選んでこのボタンを押すと項目が上下入れ替わります。

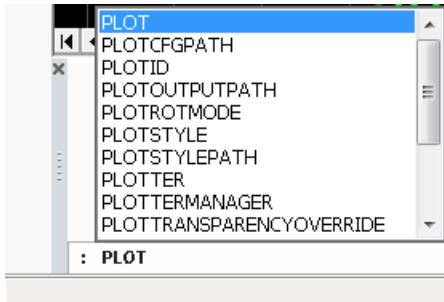
「保」のボタンを押すと、リストビューで項目をファイルに保存します。現在表示しているリストビューの項目しか保存しません。

「読」のボタンを押すと、リストビューで項目を保存したファイルを読み込むとリストビューに項目が表示します。新しいところで読み出してください。

<スクリプトの作成するヒント>

CADソフトで、一度コマンドで実行しプロンプトの表示内容を把握して作成すればよいです。
例えば、印刷は「PLOT」とコマンドラインに入力すれば、
レイアウト名、出力デバイス名、用紙サイズなど問い合わせがプロンプトの表示します。
その内容を理解して、スクリプトを作成していけば簡単に作れます。

連続印刷の例として、CAD ソフトのコマンドラインに下記のように「PLOT」を入力する



Enter を押し続けたら下記のように表示します。

: PLOT

****OS 上にあるプリンタ名****: プロッタの設定が見つかりません

印刷設定の詳細? [はい(Y)/いいえ(N)] <いいえ>:Y

レイアウト名を入力、または ? <Model>:

****OS 上にあるプリンタ名****: プロッタの設定が見つかりません

出力デバイス名を入力、または ? <None>:*****Print

用紙サイズを入力、または ? <A4 (210x297mm)>:

用紙サイズの単位を入力 [インチ(I)/ミリ(M)] <ミリ>:

図面の向きを入力 [縦(P)/横(L)] <横>:

上下を逆に印刷しますか ? [はい(Y)/いいえ(N)] <いいえ>:Y

印刷領域を入力 [表示(D)/図形範囲(E)/図面範囲(L)/ビュー(V)/窓(W)] <図形範囲>:

印刷尺度を入力 (印刷 ミリメートル = 作図単位) または [フィット(F)] <1:1.414>:F

印刷オフセット (x,y) を入力、または [中心(C)] <中心>:C

印刷スタイルを使用して印刷しますか ? [はい(Y)/いいえ(N)] <はい>:N

印刷スタイルテーブル名を入力、または ?で一覧 (無しは . を入力) <monochrome.ctb>:

線の太さを印刷しますか ? [はい(Y)/いいえ(N)] <はい>:

シェード印刷を入力 : [表示のまま(A)/ワイヤフレーム(W)/隠線(H)/レンダリング(R)/表示スタイル(V)/変更無し(U)] <表示のまま>:

印刷をファイル出力しますか ? [はい(Y)/いいえ(N)] <いいえ>:

レイアウトの変更を保存しますか ? [はい(Y)/いいえ(N)] <いいえ>:

印刷を続行しますか ? [はい(Y)/いいえ(N)] <はい>:Y

そこで、PLOT(印刷)を連続処理するスクリプトを作成する場合、下記のように1番～24番目のように設定を行ってください。

1～3番目のファイル名・フォルダ名・日付は下記のように設定しましょう

スクリプト詳細設定												
有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ファイル名	0:無	1:ファイル名	0:無	320							
ON	フォルダ名	0:無	2:フォルダ名	0:無	1							
ON	日付	0:無	3:日時	0:無	100							

説明、出力が無なのでこの内容はスプリクトファイルに書きません。

画面のリストビューの表示のみにになります。

4番目にファイルを開くコマンドを指定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON		1:COM...	0:非表示	0:無	0							open

項目文字は空白にし、出力に COM+PS を設定し、表示は無、編集も無、幅は0、セレクト1～5は空白、コマンドは open と設定します。

説明、項目文字が空白なので画面のリストビューの表示はありません。

出力が COM+PS なのでコマンド枠の open と1・2番のパス付ファイル名を書きます。

つまりスプリクトファイルには「open c:\aaaa\bbb.dwg」と書きます。

5番目に印刷のコマンドを指定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							-plot

項目文字は空白にし、出力にコマンドを設定し、表示は無、編集も無、セレクト1～5は空白、コマンドは-plot と設定します。

説明、項目文字が空白なので画面のリストビューの表示はありません。

出力がコマンドなのでコマンド枠の-plot を書きます。

つまりスプリクトファイルには「-plot」と書きます。

6番目以降からは、コマンドラインに「PLOT」と入れた際の設定を行います。

6番目は、印刷設定の詳細? [はい(Y)/いいえ(N)] <いいえ>:Y を下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	詳細	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字は詳細にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は無、セレクト1に YES、セレクト2に NO、セレクト3～5は空白、初期値はYESでコマンドは無に設定します。

説明、項目文字が詳細なので画面のリストビューのカラムに詳細が表示します。

出力が1文字なので初期値枠の YES の Y を書きます。

つまりスプリクトファイルには「Y」と書きます。

7番目は、レイアウト名を入力、または ? <Model> を下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	レイアウト	4:全文字	4:初期値	1:text	60						MODEL	

項目文字はレイアウトにし、出力に全文字を設定し、表示は初期値、編集はtext、セレクト1～5は空白、初期値は MODEL でコマンドは空白に設定します。

説明、項目文字がレイアウトなので画面のリストビューのカラムにレイアウトが表示します。

出力が全文字なので初期値枠の MODEL を書きます。

つまりスプリクトファイルには「MODEL」と書きます。

編集が text になっているので、ファイルの名を読み込んだ後でも編集が可能です。

8番目は、出力デバイス名を入力、または？〈None〉：？を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	出力先	4:全文字	4:初期値	3:出力先	160						DocuPr...	

項目文字は出力先にし、出力に全文字を設定し、表示は初期値、編集は出力先、セレクト1～5は空白、初期値はプリンタ名でコマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が出力先なので画面のリストビューのコラムに出力先が表示します。

出力が全文字なので初期値枠のプリンタ名を書きます。

つまりスプリクトファイルには「プリンタ名」と書きます。

編集が出力先になっているので、ファイルの名を読み込んだ後でも他のプリンタ名を選び直します。

9番目は、用紙サイズを入力、または？〈A4 (210x297mm)〉を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	用紙	4:全文字	4:初期値	4:用紙	120						A1 (594...	

項目文字は用紙にし、出力に全文字を設定し、表示は初期値、編集は用紙、セレクト1～5は空白、初期値は A3(***)でコマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が用紙なので画面のリストビューのコラムに用紙が表示します。

出力が全文字なので初期値枠のA3(***)を書きます。

つまりスプリクトファイルには「A3(***)」と書きます。

編集が用紙になっているので、ファイルの名を読み込んだ後でも他の用紙サイズを選び直します。

10番目は、用紙サイズの単位を入力 [インチ(I)/ミリ(M)] 〈ミリ〉を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	単位	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	M:ミリ	I:インチ				M:ミリ	

項目文字は単位にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1にM:ミリ、セレクト2にI:インチ、セレクト3～5は空白、初期値はM:ミリ、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が単位なので画面のリストビューのコラムに単位が表示します。

出力が1文字なので初期値枠のM:ミリのMを書きます。

つまりスプリクトファイルには「M」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

11番目は、図面の向きを入力 [縦(P)/横(L)] 〈横〉を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	方向	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	L:横	P:縦				L:横	

項目文字は方向にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1に L:横、セレクト2に P:縦、セレクト3～5は空白、初期値は L:横、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が方向なので画面のリストビューのコラムに方向が表示します。

出力が1文字なので初期値枠の L:横のLを書きます。

つまりスプリクトファイルには「L」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

12番目は、上下を逆に印刷しますか？ [はい(Y)/いいえ(N)] 〈いいえ〉:Y を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	上下逆	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	

項目文字は上下逆にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1に YES、セレクト2に NO、セレクト3～5は空白、初期値は NO、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が上下逆なので画面のリストビューのコラムに上下逆が表示します。

出力が1文字なので初期値枠のNOのNを書きます。

つまりスプリクトファイルには「N」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

13番目は、印刷領域を入力 [表示(D)/図形範囲(E)/図面範囲(L)/ビュー(V)/窓(W)] <図形範囲>を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	印刷領域	3:1文字	4:初期値	2:選択	70	E:オブジ...	D:図面	L:表示			E:オブジ...	

項目文字は印刷領域にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1に E:オブジェクト、セレクト2に D:図面、セレクト3に L:表示、セレクト4～5は空白、初期値は E:オブジェクト、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が印刷領域なので画面のリストビューのカラムに印刷領域を表示します。

出力が1文字なので初期値枠の E:オブジェクトのEを書きます。

つまりスプリクトファイルには「E」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

14番目は、印刷尺度を入力 (印刷 ミリメートル = 作図単位) または [フィット(F)] <1:1.414>:F を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	尺度	4:全文字	4:初期値	1:text	40						F	

項目文字は印刷尺度にし、出力に全文字を設定し、表示は初期値、編集は Text、セレクト1～5は空白、初期値は F、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が印刷尺度なので画面のリストビューのカラムに印刷尺度を表示します。

出力が全文字なので初期値枠の F を書きます。

つまりスプリクトファイルには「F」と書きます。

編集がTextになっているので、ファイルの名を読み込んだ後でも編集が可能です。

15番目は、印刷オフセット (x,y) を入力、または [中心(C)] <中心>:C を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	オフセット	4:全文字	4:初期値	1:text	80						0.00,0.00	

項目文字はオフセットにし、出力に全文字を設定し、表示は初期値、編集は Text、セレクト1～5は空白、初期値は 0.00,0.00、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字がオフセットなので画面のリストビューのカラムにオフセットを表示します。

出力が全文字なので初期値枠の 0.00,0.00 を書きます。

つまりスプリクトファイルには「0.00,0.00」と書きます。

編集がTextになっているので、ファイルの名を読み込んだ後でも編集が可能です。

16番目は、印刷スタイルを使用して印刷しますか？ [はい(Y)/いいえ(N)] <はい>:N を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	スタイル	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字はスタイルにし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は無、セレクト1に YES、セレクト2に NO、セレクト3～5は空白、初期値は YES、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字がスタイルなので画面のリストビューのカラムにスタイルが表示します。

出力が1文字なので初期値枠の YES のYを書きます。

つまりスプリクトファイルには「Y」と書きます。

編集が無になっているので、ファイルの名を読み込んだ後の変更は出来ません。

17番目は、印刷スタイルテーブル名を入力、または ?で一覧 (無しは . を入力)

<monochrome.ctb>:を下記のように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	スタイルテーブル	4:全文字	4:初期値	5:スタイル	100						monoc...	

項目文字はスタイルテーブルにし、出力に全文字を設定し、表示は初期値、編集はスタイル、セレクト1～5は空白、初期値は monochrome.ctb 、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字がスタイルテーブルなので画面のリストビューのカラムにスタイルテーブルが表示します。

出力が全文字なので初期値枠の monochrome.ctb を書きます。

つまりスプリクトファイルには「monochrome.ctb」と書きます。

編集がスタイルになっているので、環境設定で設定したスタイルテーブルのパス名の中にある拡張子 ctb のファイルの名を選択可能になります。

18番目は、線の太さを印刷しますか？ [はい(Y)/いいえ(N)] <はい>:を下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	線太	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				YES	

項目文字は線太にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1に YES、セレクト2に NO、セレクト3～5は空白、初期値は YES、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が線太なので画面のリストビューのカラムに線太が表示します。

出力が1文字なので初期値枠の YES のYを書きます。

つまりスプリクトファイルには「Y」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

19番目は、シェード印刷を入力：[表示のまま(A)/ワイヤフレーム(W)/隠線(H)/レンダリング(R)/表示スタイル(V)/変更無し(U)] <表示のまま>:を下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	シェーディング	3:1文字	4:初期値	2:選択	80	A:表示	W:ワイ	H:隠線	V:表示	V:表示	A:表...	

項目文字はシェーディングにし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1に A:表示、セレクト2に W:ワイ、セレクト3に H:隠線、セレクト4に V:表示、初期値は A:表示、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字がシェーディングなので画面のリストビューのカラムにシェーディングが表示します。

出力が1文字なので初期値枠の A:表示の Aを書きます。

つまりスプリクトファイルには「A」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

20番目は、印刷をファイル出力しますか？ [はい(Y)/いいえ(N)] <いいえ>:を下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	F書	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	

項目文字はF書にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1に YES、セレクト2に NO、セレクト3～5は空白、初期値は YES、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字がF書なので画面のリストビューのカラムにF書が表示します。

出力が1文字なので初期値枠の YES のYを書きます。

つまりスプリクトファイルには「Y」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

21番目は、レイアウトの変更を保存しますか？ [はい(Y)/いいえ(N)] <いいえ>:を下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	ページ設定	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	

項目文字はページ印刷にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1に YES、セレクト2に NO、セレクト3～5は空白、初期値は YES、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字がページ印刷なので画面のリストビューのカラムにページ印刷が表示しますが、変更保存とした方がわかりやすいですね。

出力が1文字なので初期値枠の YES のYを書きます。

つまりスプリクトファイルには「Y」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

22番目は、印刷を続行しますか？ [はい(Y)/いいえ(N)] <はい>:Y:を下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	印刷	3:1文字	4:初期値	0:無	40	YES	NO				YES	

項目文字は印刷にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は無、セレクト1に YES、セレクト2に NO、セレクト3～5は空白、初期値は YES、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が印刷なので画面のリストビューのコラムに印刷が表示します。

出力が1文字なので初期値枠の YES のYを書きます。

つまりスプリクトファイルには「Y」と書きます。

編集が無になっているので、ファイルの名を読み込んだ後の変更は出来ません。

23番目は、このまままだ連続処理を実施時に、ファイルを開きっぱなしになるので、印刷などの処理がおわったら閉じるようにします。それは下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON		2:コマンド	0:非表示	0:無	0							close

項目文字は空白にし、出力にコマンドを設定し、表示は無、編集も無、セレクト1～5は空白、コマンドは close と設定します。

説明、項目文字が空白なので画面のリストビューの表示はありません。

出力がコマンドなのでコマンド枠の close を書きます。

つまりスプリクトファイルには「close」と書きます。

24番目以降からは、コマンドラインに「CLOSE」と入れた際の設定を行います。

24番目は、上書き保存しますか？ [はい(Y)/いいえ(N)] <いいえ>:N:を下記ように設定します。

有	項目文字	出力	表示	編集	幅	セレクト1	セレクト2	セレクト3	セレクト4	セレクト5	初期値	コマンド
ON	上書き	3:1文字	4:初期値	2:選択	40	YES	NO				NO	

項目文字は上書にし、出力に1文字を設定し、表示は初期値、編集は選択、セレクト1に YES、セレクト2に NO、セレクト3～5は空白、初期値は NO、コマンドは空白に設定します。

説明、項目文字が上書なので画面のリストビューのコラムに上書が表示します。

出力が1文字なので初期値枠の NO の N を書きます。

つまりスプリクトファイルには「N」と書きます。

編集が選択になっているので、セレクト1～5中から選べ直せます。

この上書き保存とは、7番目から21番目の設定された内容を CAD ファイル DWG に保存するかしないの設定になります。NOにすれば保存されないの、再度印刷する場合は、再度設定が必要ですが、YES にすれば、保存しますので、スタイル設定で簡易印刷にすれば、前回印刷した設定で印刷します。但し、プリンターや用紙サイズを変えて印刷する場合は再設定が必要なので再設定が必要になるため、保存はNOをお勧めします。

上記で設定した内容を環境設定で設定した実行スプリクトファイルがあるパス名に保存します。

つまり atcprint.scr のファイルに下記の文字列を作成します。

```
open "D:¥*****¥ *****¥*****¥*****.DWG"
-plot
Y
MODEL
****プリンター名****
A3
M
```

L
N
D
F
0.00,0.00
Y
monochrome.ctb
Y
A
N
N
Y
close
N

上記の内容を選択したファイル数毎に書きます。

最後に

open "D:¥*****¥*****¥endfile.dwg"

quit

を書きます。

これは、CAD ソフトによっては最後のファイルが閉じない問題がありますので、
環境設定で設定した Endfile.dwg があるパス名のファイルを読んで quit 処理します。

このスクリプトファイル atcprint.scr をCADソフトの起動時のオプションにして起動すれば、連続印刷などの連続処理が動作します。

CADソフトは環境設定で設定したCADアプリのEXEファイルがあるパス名の設定がなければ動作しません。


という感じでスクリプトを設定して下さい。

よって、印刷以外のスクリプト処理が可能になっています。

3・初期設定(ファイル読込時)

この設定は、図面ファイル名を読み込んだ時に、初期設定内容をリストビューに入れます。
その設定を修正します。

メニューの「環境設定」の「初期設定」をクリック、又は

ツールバーの  をクリックすると以下の画面が表示する
上記の画面はスクリプトの初期値を変更する画面です。
初期値とは、ファイルを読み込んだ時に、
スクリプト設定で設定した初期値をリストビューに入れます。
この初期値をここでも設定することが出来ます。

<詳細印刷 AC-MODEL>



レイアウト	出力先	用紙	単位	方向	上下逆	印刷領域	尺度	オフセット
MODEL	DocuPrint	A1 (594x841mm)	M:ミ	し横	NO	E:オフセット	F	0.00,0.00

スタイルテーブル	線太	シェーディング	F書	ページ設定上書
monochrome.ctb	YES	A:表示とあり	NO	NO

OK キャンセル

1・レイアウト名

レイアウト名を入力でModelとします。

2・出力先

出力デバイス名を入力で、OSが認識したプリンタを選択出来ます。

OS が認識したプリンタとは、Windows の「スタート」・「設定」・「デバイス」・「プリンタとスキャナ」をクリックした画面に表示してあるプリンタの事です。

ここに表示していないプリンタは使用出来ません。

3・用紙

設定したプリンタで利用できる用紙サイズを選択出来るようにしています。

用紙サイズを入力で、OSが認識したプリンタの用紙サイズを選択出来ます。

OS が認識したプリンタとは、Windows の「スタート」・「設定」・「デバイス」・「プリンタとスキャナ」をクリックした画面に表示してあるプリンタの用紙種類の事です。

ここに表示していないプリンタの用紙種類は使用出来ません。

4・単位

用紙単位でCADソフトの設定と同じ意味です。

「M:ミリ」・「I:インチ」を設定します。

5・方向

印刷する方向CADソフトの設定と同じ意味です。

「L:横」・「P:縦」を設定します。

6・上下逆

上下と逆にして印刷CADソフトの設定と同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

7・印刷領域

印刷領域でCADソフトの設定と同じ意味です。

「E:オブジェクト」・「D:図面」・「L:表示」を設定します。

ビュー・窓は非対応です。

8・印刷尺度

印刷尺度でCADソフトの設定と同じ意味です。

「F」又は「数値」を設定します。

Fとはフィットと言う意味です。

9・オフセット

印刷オフセットでCADソフトの設定と同じ意味です。

「C」又は「数値」を設定します。

「C」とはセンターと言うことです。

10・スタイルテーブル

印刷デバイスの印刷スタイルテーブルでCADソフトの設定と同じ意味です。

これは、CADソフトのデレクトリ内にあるスタイルテーブルを探してそのスタイルテーブルを表示させ、選択出来ます。

CADソフトのデレクトリ内にスタイルテーブルが無ければ、コンボ BOX に表示しません。

11・線太

線の太さを使用して印刷するか、でCADソフトの設定と同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

12・シューテング

印刷オプションのシューテング印刷の設定でCADソフトの設定と同じ意味です。

「A:表示通り」・「H:隠線処理」・「W:ワイヤフレーム(W)」・「R:レンタリング」・「V:表示スタイル」を設定します。

13・F書

印刷をファイルへ書き出しますか、でCADソフトの設定と同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

14・ページ設定

ページ設定の変更しますか、でCADソフトの設定と同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

15・上書

図面を閉じる時に上書き保存するか、でCADソフトと同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

<詳細印刷 LT-MODEL>

初期設定(詳細印刷LT-MODEL)読込時に設定します

レイアウト	出力先	用紙	単位	方向	上下逆	印刷領域	尺度	オフセット
MODEL	Adobe PDF	A3	M:ミ	L:横	NO	E:オブジェクト	F	0.00,0.00

スタイルテーブル	線太	隠線	F書	毛保	上書
monochrome.ctb	YES	NO	NO	NO	YES

OK キャンセル

1・レイアウト名

レイアウト名を入力でModelとします。

2・出力先

出力デバイス名を入力で、OSが認識したプリンタを選択出来ます。

OS が認識したプリンタとは、Windows の「スタート」・「設定」・「プリンタとFAX」をクリックした画面に表示してあるプリンタの事です。

ここに表示していないプリンタは使用出来ません。

3・用紙

設定したプリンタで利用できる用紙サイズを選択出来るようにしています。

用紙サイズを入力で、OSが認識したプリンタの用紙サイズを選択出来ます。

OS が認識したプリンタとは、Windows の「スタート」・「設定」・「プリンタとFAX」をクリックした画面に表示してあるプリンタの用紙種類の事です。

ここに表示していないプリンタの用紙種類は使用出来ません。

4・単位

用紙単位でCADソフトと同じ意味です。

「M:ミリ」・「I:インチ」を設定します。

5・方向

印刷する方向CADソフトと同じ意味です。

「L:横」・「P:縦」を設定します。

6・上下逆

上下と逆にして印刷CADソフトと同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

7・印刷領域

印刷領域でCADソフトと同じ意味です。

「E:オブジェクト」・「D:図面」・「L:表示」を設定します。

ビュー・窓は非対応です。

8・印刷尺度

印刷尺度でCADソフトと同じ意味です。

「F」又は「数値」を設定します。

Fとはフィットと言う意味です。

9・オフセット

印刷オフセットでCADソフトと同じ意味です。

「C」又は「数値」を設定します。

「C」とはセンターと言うことです。

10・スタイルテーブル

印刷デバイスの印刷スタイルテーブルでCADソフトと同じ意味です。

これは、CADソフトのデレクトリ内にあるスタイルテーブルを探してそのスタイルテーブルを表示させ、選択出来ます。

CADソフトのデレクトリ内にスタイルテーブルが無ければ、コンボ BOX に表示しません。

11・線太

線の太さを使用して印刷するか、でCADソフトと同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

12・隠線

隠線を処理しますか、でCADソフトと同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

13・F書

印刷をファイルへ書き出しますか、でCADソフトと同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

14・モ保

モデルタブの変更を保存しますか、でCADソフトと同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

15・上書

図面を閉じる時に上書き保存するか、でCADソフトと同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

<簡易印刷>

初期設定(簡易印刷)読込時に設定します

レイアウト	ページ名	出力先	ファイル書出	ページ/モ保	印刷	上書
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	YES	NO

OK キャンセル

1・レイアウト名

レイアウト名を入力で何も入れません。

2・ページ名

ページ設定名を入力で何も入れません。

3・出力先

出力デバイス名を入力で、何も入れません。

4・ファイル書出

印刷をファイルへ書き出しますで、何も入れません。

5・ページ／モ保

ページ設定の変更しますか？

モデルタブの変更を保存しますか？

にこも、何も入れません。

6・上書

図面を閉じる時に上書き保存するか、でAutoCADと同じ意味です。

「YES」・「NO」を設定します。

簡易印刷は、前回印刷したスタイルで印刷するために作りましたので、初期設定はしない方が、良いですね。
機能としては、編集可能となっています。

<dxg変換>

初期設定はありません。

<DWG 変換>

初期設定はありません。

4・処理する図面ファイルの読み込む

処理するファイルを選ぶとき、1つのファイルを1個単位で選ぶ方法・フォルダ内にあるファイルをすべて選ぶ方法・フォルダ内にあるファイルでサブフォルダ内にファイルをすべて選ぶ方法・フォルダを選んでそのフォルダ内にファイルをすべて選ぶ方法があります。

いずれにも、パスを指定しなければなりません。そのソフトは、過去に選んだパス名を記憶され再度選ぶ際は、過去の履歴を選びフォルダ選択の作業を短縮しました。

又、よく使うパスは5個まで登録するようにしました。

はじめは下記の画面が出ます。


The screenshot shows a dialog box titled "フォルダ選択" (Folder Selection) with a close button (X) in the top right corner. The main area is a list of folders. Below the list, there is a button labeled "上記以外でフォルダ選択" (Select folder other than the above).

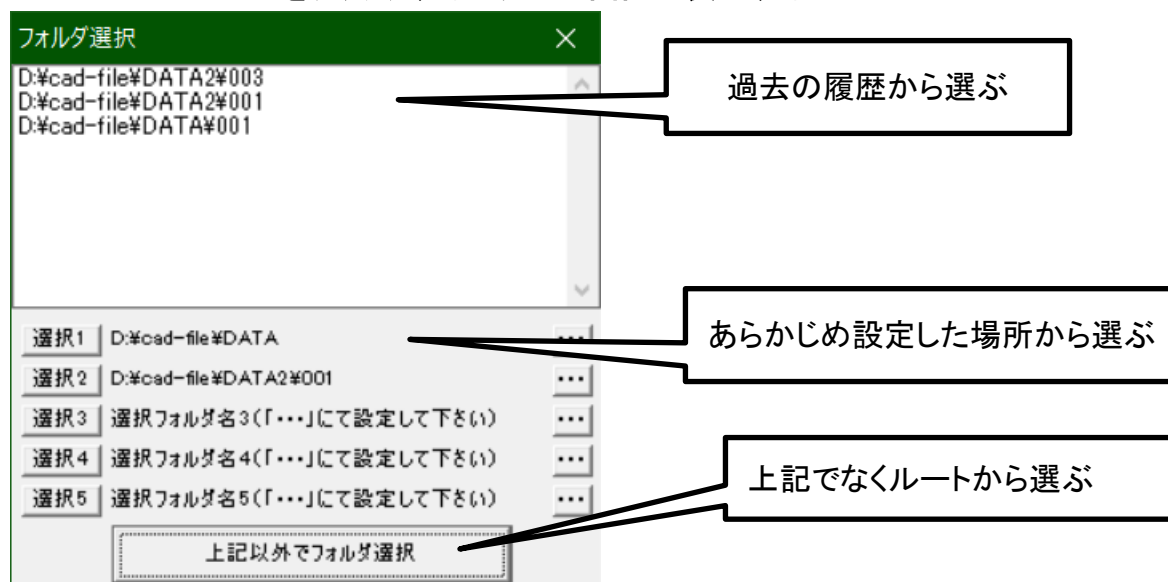
Callouts explain the following features:

- ここに過去の履歴を 20 件表示し、ここをクリックするとそのフォルダ内の選定処理をします。(Here, the past history of 20 items is displayed, and clicking here performs the selection processing for the folder.)
- 「選択1～5」をクリックするとあらかじめ設定した場所フォルダ内の選定処理をします。(Clicking "Selection 1~5" performs the selection processing for the folder in the location set in advance.)
- 「...」をクリックするとあらかじめ設定した場所を登録します。(Clicking "..." registers the location set in advance.)
- ここにはあらかじめ設定した場所のパス名を表示します。(Here, the path name of the location set in advance is displayed.)
- 上記以外でルートディレクトリから選択する場合はここをクリックする。(Click here if you want to select from the root directory other than the above.)

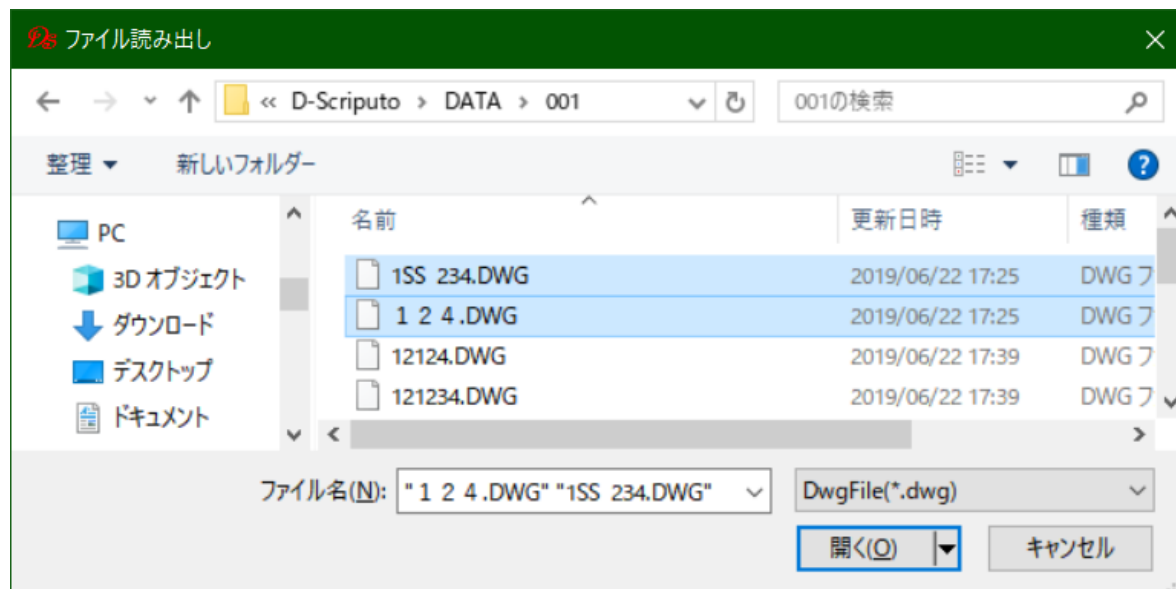
<図面ファイルを1枚単位で読み込む>

まず、印刷したい図面ファイルのリストビューに入れます。
メニューの「ファイル選択」の「ファイル追加」をクリック、又は

ツールバーの  をクリックすると以下の画面が表示する




上部のリストBOXには、最近開いたフォルダを20件が表示され、そこをクリックするとその場所へ行きます。また、選択1～5は、あらかじめ設定された場所へ行きます。選択1～5の横にパス名が表示しています。「...」をクリックして登録も可能です。これ以外で行う場合は「上記以外でフォルダ選択」のボタンを押して下さい。

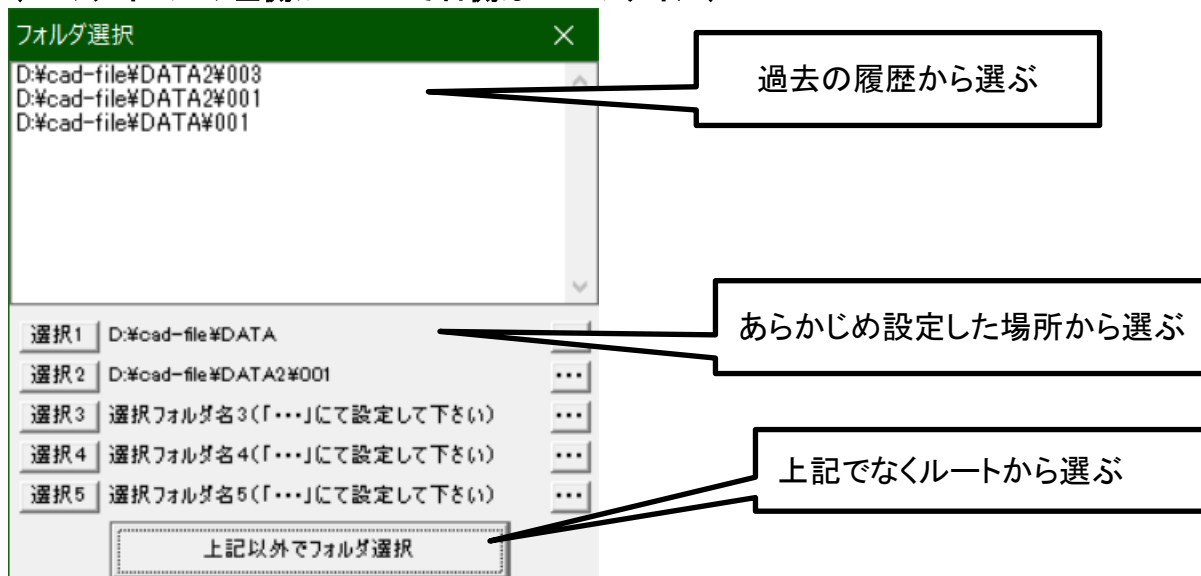


これで1個以上のファイルを選択して開くをクリックします。

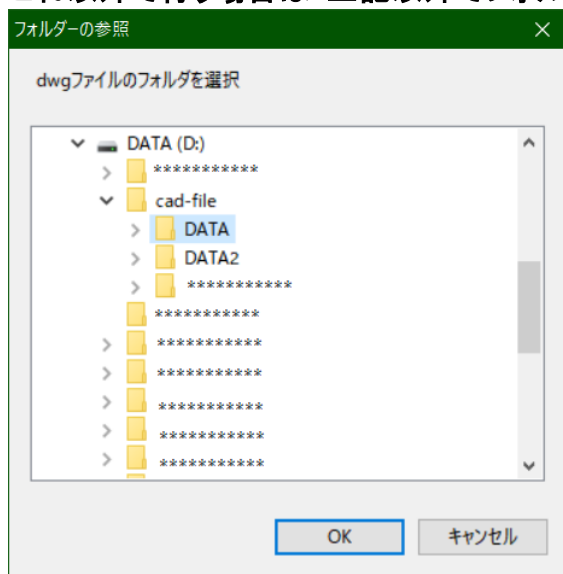
<図面ファイルをフォルダ単位で読み込む>

図面ファイルを読み込む時、フォルダ内全てをリストビューに入れる場合。
メニューの「ファイル選択」の「DWG／DXFフォルダ単位」をクリック、又は

ツールバーの  をクリックすると以下の画面が表示する
(上のアイコンの左側がDWGで右側はDXFファイル)



上部のリストBOXには、最近開いたフォルダを20件が表示され、そこをクリックするとその場所へ行きます。また、選択1～5は、あらかじめ設定された場所へ行きます。選択1～5の横にパス名が表示しています。「...」をクリックして登録も可能です。これ以外で行う場合は「上記以外でフォルダ選択」のボタンを押して下さい。

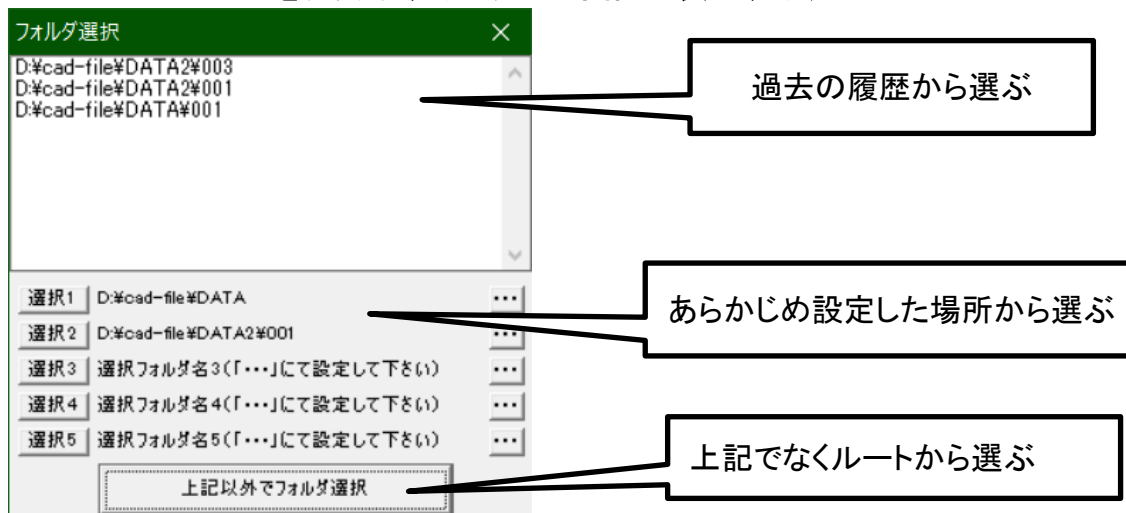


上記でフォルダを選んでOKを押す。

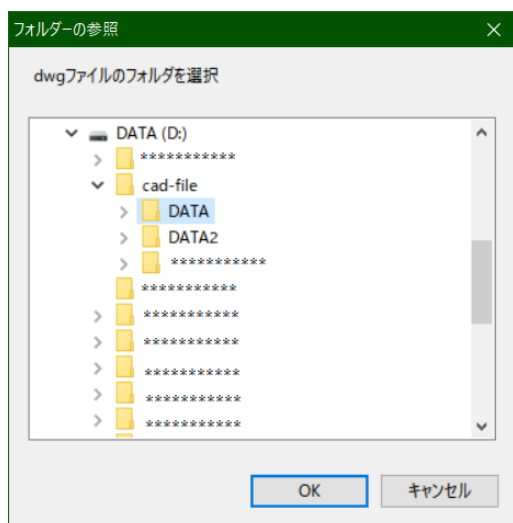
<図面ファイルをサブフォルダ単位で読み込む>

図面ファイルを読み込む時、フォルダ内全て(サブフォルダ内も)をリストビューに入れる場合。メニューの「ファイル選択」の「DWG／DXFサブフォルダ単位」をクリック、又は

ツールバーの  をクリックすると以下の画面が表示する(ツールバーはDWGのみ)



上部のリストBOXには、最近開いたフォルダを20件が表示され、そこをクリックするとその場所へ行きます。また、選択1～5は、あらかじめ設定された場所へ行きます。選択1～5の横にパス名が表示しています。「...」をクリックして登録も可能です。これ以外で行う場合は「上記以外でフォルダ選択」のボタンを押して下さい。



上記でフォルダを選択しOKを押す。

上記の絵を例にすると

「test」とフォルダを選ぶと「test」フォルダ内のファイルと

「0001」フォルダ内のファイルと「0002」フォルダ内のファイルと

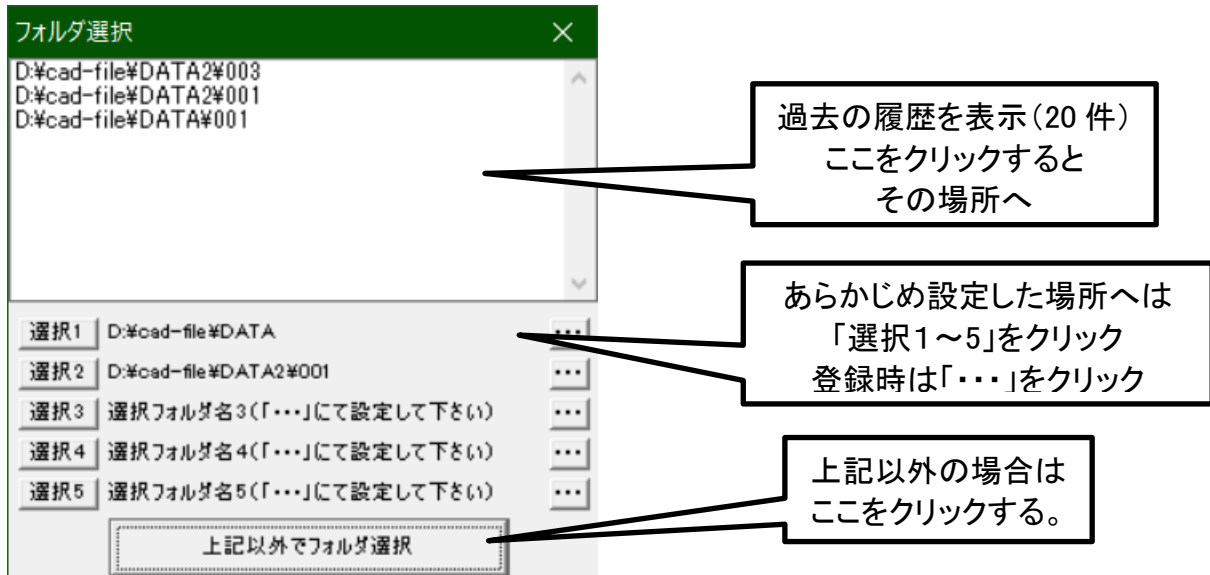
「0003」フォルダ内のファイルを読み込みます。

但し、サブフォルダ数は30個までです。30個以上は読込ません。

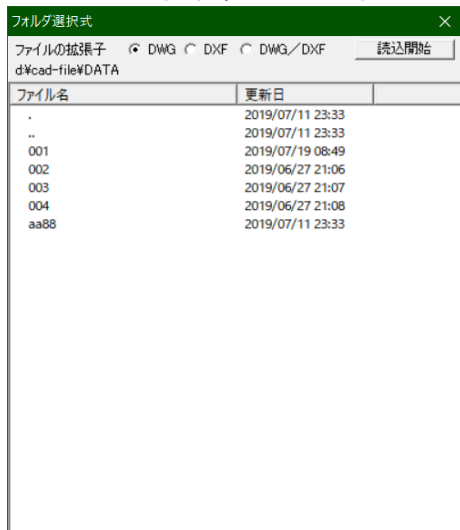
<フォルダ選択式で読み込む>

図面ファイルを読み込む時、複数のフォルダ内全てをリストビューに入れる場合。
メニューの「ファイル選択」の「フォルダ選択」をクリック、又は

ツールバーのをクリックすると以下の画面が表示する



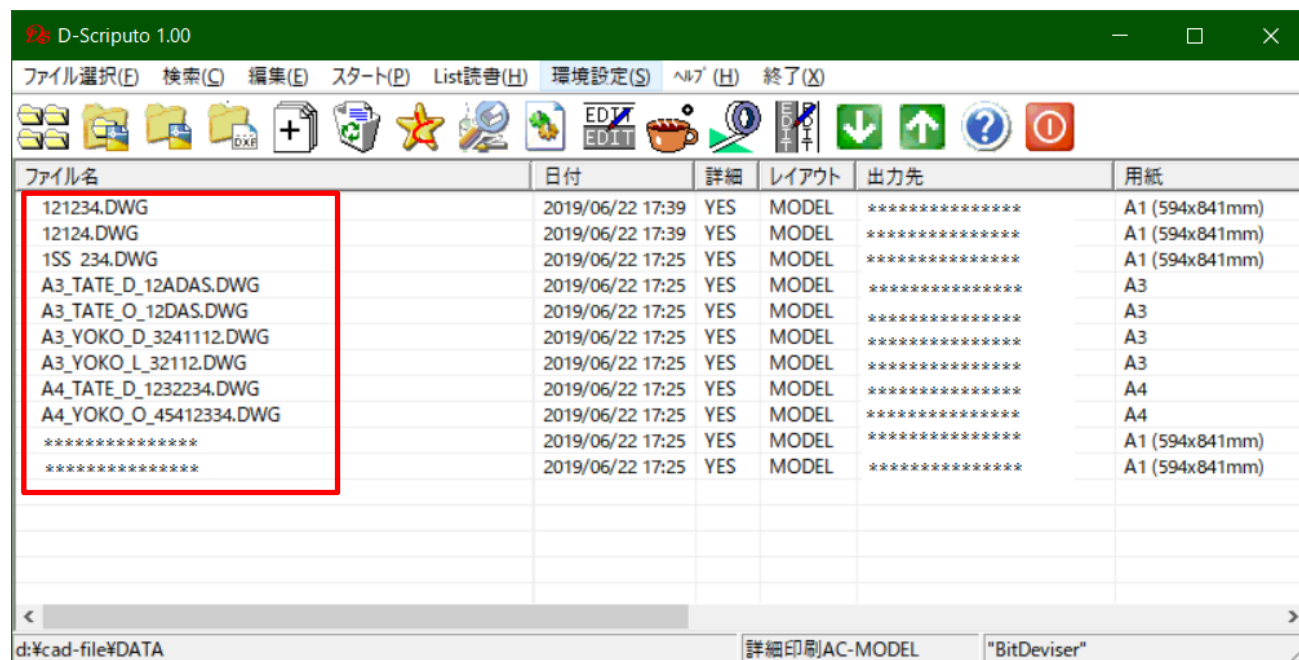
上部のリストBOXには、最近開いたフォルダを20件が表示され、そこをクリックするとその場所へ行きます。また、選択1~5は、あらかじめ設定された場所へ行きます。選択1~5の横にパス名が表示しています。「...」をクリックして登録も可能です。これ以外で行う場合は「上記以外でフォルダ選択」のボタンを押して下さい。



フォルダをダブルクリックするとそのフォルダ内にディレクトリが移行します。
「.」と「..」をダブルクリックすると親のディレクトリへ移行します。
シフトキーやコントロールキーを押しながらクリックすると
複数のフォルダを選択出来ます。
この選択したフォルダー内のファイルを読み込みます。
(サブフォルダ内は読み込みません)
フォルダを選択し、「読み込み開始」のボタンを押す

<読み込んだ結果>

読み込んだ結果リストビューに選ばれたファイルが表示する



ファイル名	日付	詳細	レイアウト	出力先	用紙
121234.DWG	2019/06/22 17:39	YES	MODEL	*****	A1 (594x841mm)
12124.DWG	2019/06/22 17:39	YES	MODEL	*****	A1 (594x841mm)
1SS_234.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A1 (594x841mm)
A3_TATE_D_12ADAS.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A3
A3_TATE_O_12DAS.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A3
A3_YOKO_D_3241112.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A3
A3_YOKO_L_32112.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A3
A4_TATE_D_1232234.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A4
A4_YOKO_O_45412334.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A4
*****	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A1 (594x841mm)
*****	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	*****	A1 (594x841mm)

赤○の部分が読み込んだファイル名となる。

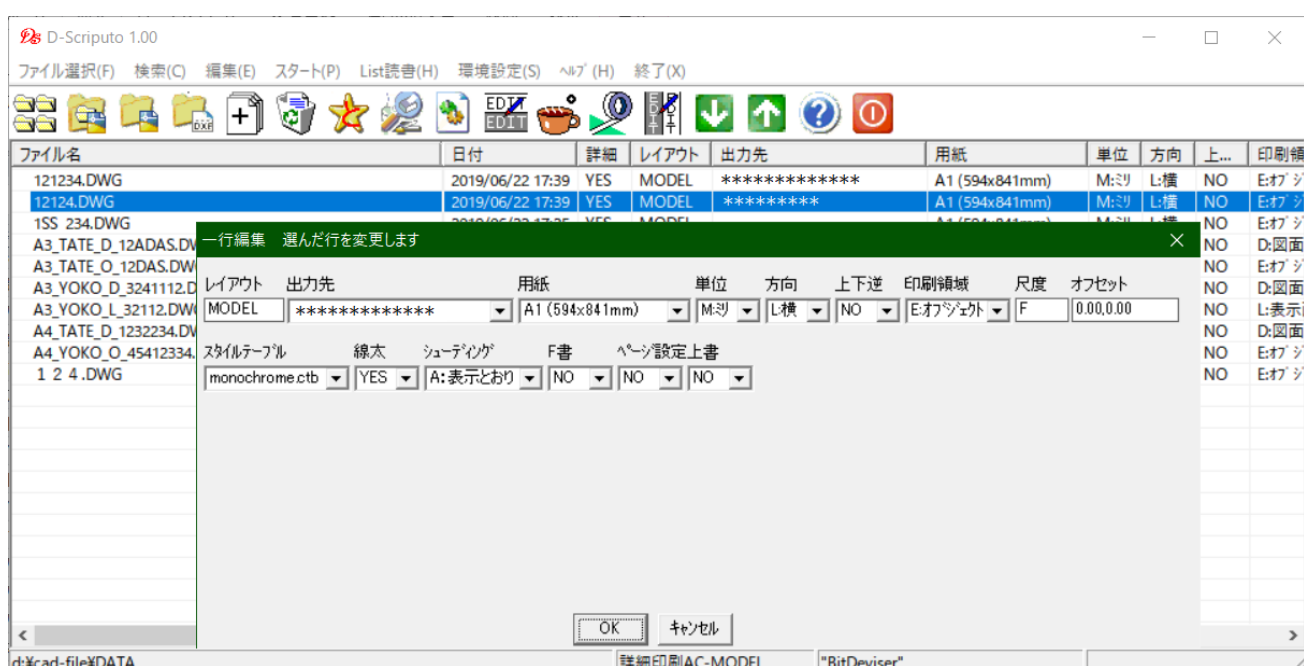
5・読込後の編集

ファイルを読み込んだ状態では、初期値が入っています。
これを変更する場合下記の方法で編集出来ます。
但し、スプリット設定で、編集モードが無の場合は編集出来ません。

<1行編集(1図面単位で編集)>

1図面単位で変更する場合下記の方法で編集出来ます。


リストビューで図面ファイルを選んだ後にツールバー  のをクリックします。



選ばれた、行の項目の内容が、上記のDialogに反映表示します。
このDialogで初期値の状態から変更出来ます。

<1列編集(全図面1項目編集)>

一部の項目で全図面を変更する場合下記の方法で編集出来ます。

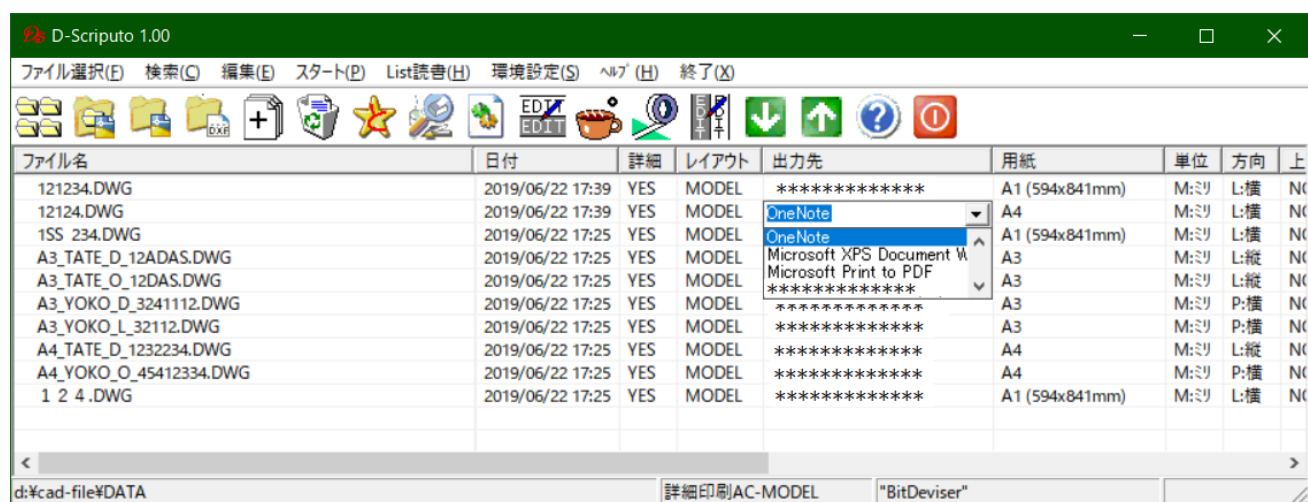
ツールバー  をクリックすると下記の画面が出てきます。
(ここではファイルを選択する必要はありません)



上記のDialogには EditBox や ComboBox が空です。文字が入っていません。
ここで文字で変更したところだけ、全ての図面ファイルに反映します。
変更したところとは、EditBox や ComboBox が空で、文字が入っていない事。
EditBox や ComboBox に文字が入っていないところは反映しません。

<リストビューから直接編集する>

リストビューで右クリックすると EditBox や ComboBox が表示され直接編集出来ます。



スクリプト設定で編集モードが「O:無」の場合は編集出来ません。

編集を終了する場合は、EditBox や ComboBox 以外のところをクリックして下さい。

(フォーカスを外して下さい)

<リストビューでコピー編集>

リストビューの1行単位でコピー&ペーストで編集します。

コピー

1行を選択しツールバーをクリックします。

この絵はコピーのアイコンです。

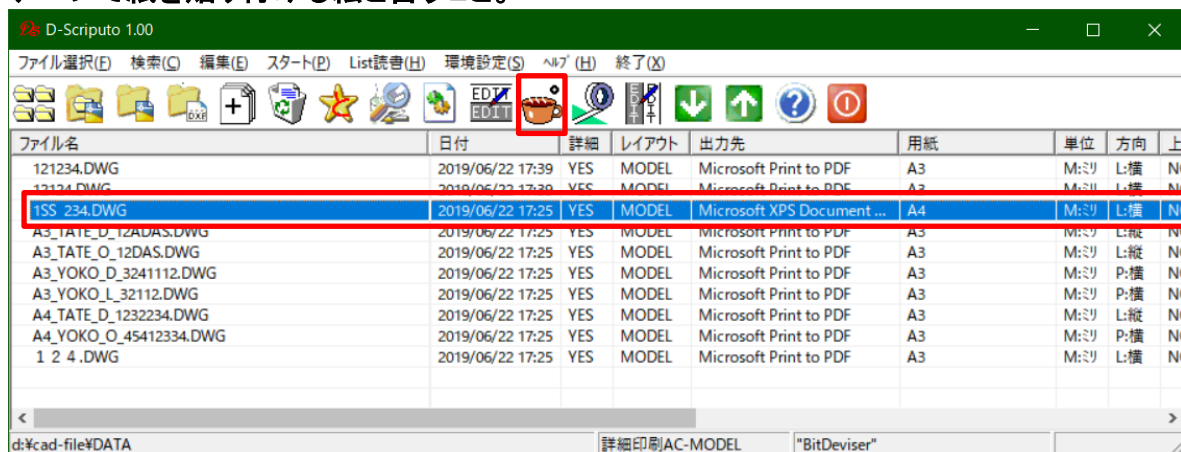
「コーヒー」に○ついて「コピー」=「コピー」

ペースト

1行を選んでルーツバーをクリックします。

この絵はペーストのアイコンです。

テープで紙を貼り付ける絵と言うこと。



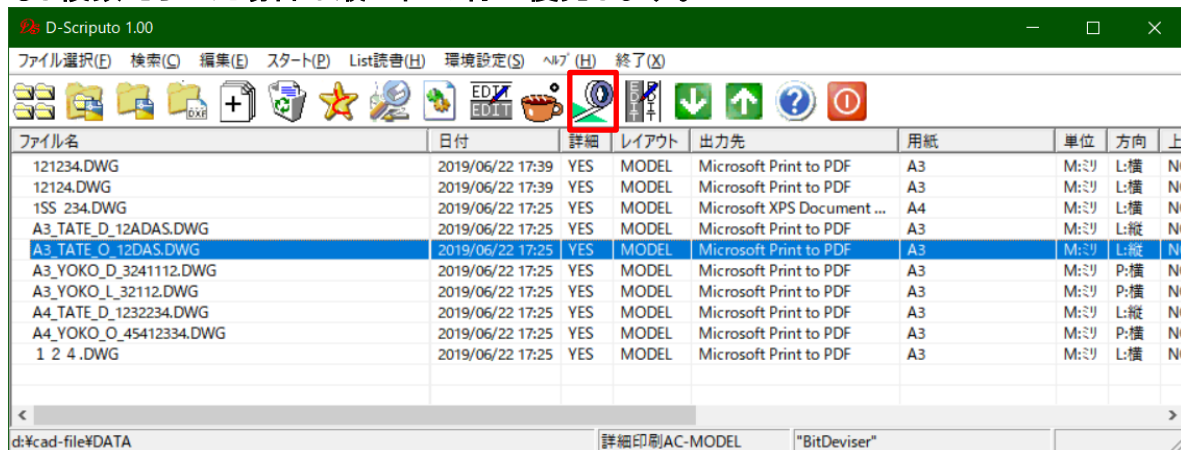
上から3行めをクリックして選択し

ツールバーでコピーのアイコンをクリック

バッファにコピーします。

コピーは1行だけ選んで下さい。

もし複数えらんだ場合は最上位の行が優先します。



上から5行めをクリックして選択し

ツールバーでペーストのアイコンをクリック
バッファの内容を反映します。

ファイル名	日付	詳細	レイアウト	出力先	用紙	単位	方向	上
121234.DWG	2019/06/22 17:39	YES	MODEL	Microsoft Print to PDF	A3	M:ミリ	L:横	NC
12124.DWG	2019/06/22 17:39	YES	MODEL	Microsoft Print to PDF	A3	M:ミリ	L:横	NC
1SS 234.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	Microsoft XPS Document ...	A4	M:ミリ	L:横	NC
A3_TATE_O_12DAS.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	Microsoft Print to PDF	A3	M:ミリ	L:横	NC
A3_TATE_O_12DAS.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	Microsoft XPS Document ...	A4	M:ミリ	L:横	NC
A3_YOKO_D_3241112.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	Microsoft Print to PDF	A3	M:ミリ	P:横	NC
A3_YOKO_L_32112.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	Microsoft Print to PDF	A3	M:ミリ	P:横	NC
A4_TATE_D_1232234.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	Microsoft Print to PDF	A3	M:ミリ	L:横	NC
A4_YOKO_O_45412334.DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	Microsoft Print to PDF	A3	M:ミリ	P:横	NC
1 2 4 .DWG	2019/06/22 17:25	YES	MODEL	Microsoft Print to PDF	A3	M:ミリ	L:横	NC

ファイル名やフォルダ名・日付けはコピーしません。
つまりスクリプト編集で編集モードが「0:無」以外がコピーします。
ペーストの場合、複数の行を選んでもかまいません。

<スクリプト設定の編集モード>

スクリプト設定の編集モードについての説明です。

0:無は編集は出来ません。

1:text はEditBox で編集し、文字列を設定します。

2:選択は ComboBox でセレクト1～5 の内容に変更できます。

3:出力先は、ComboBox で OS 上で認識したプリンター名が設定出来ます。

メニューの環境設定のプリンタと用紙の列举をクリックして表示された内容が OS 上で認識したプリンタの種類です。

4:用紙は、ComboBox で OS 上で認識したプリンタで認識した用紙サイズが設定出来ます。

メニューの環境設定のプリンタと用紙の列举をクリックして表示された内容が OS 上で認識したプリンタの用紙の種類です。


用紙の種類は63までになっていますが、プリンタによっては63以上ある場合がありますので、環境設定で用紙の種類の設定で A0～、B0～のみにチェックをいれると A0～、B0～のみの列举となり63までに収まります。


5:スタイルは、ComboBox で印刷時のスタイルテーブルが設定出来ます。

環境設定で設定したスタイルテーブルのパス名の中にある拡張子 ctb のファイルの名を選択可能になります。

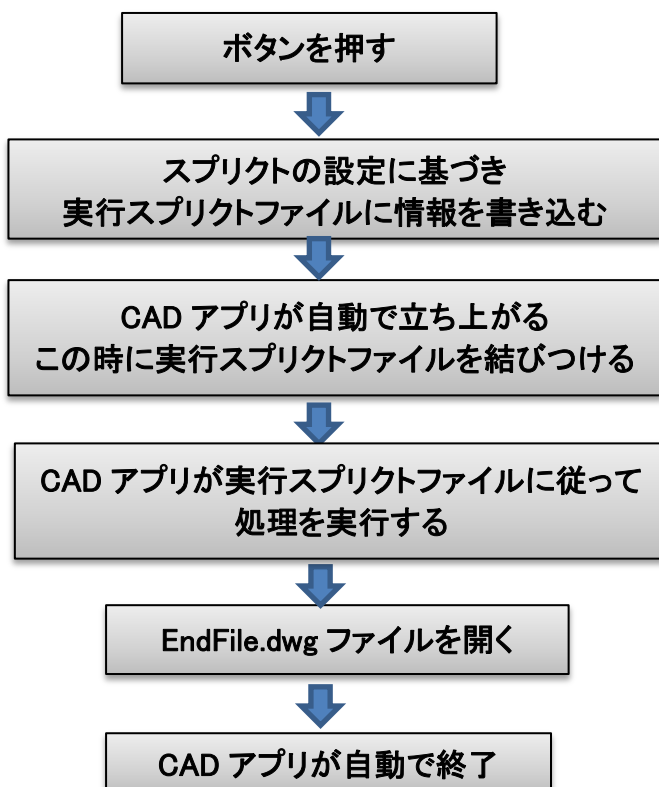
6・スクリプトの実行

全てを図面ファイルを実行をする場合は

図面ファイルを選ばないで  このボタンを押して下さい。
又は、メニューのスタートの全スクリプト実行をクリックして下さい。
選んだ図面ファイルだけを実行をする場合は

図面ファイルを選んで  このボタンを押して下さい。
又は、メニューのスタートの選択スクリプト実行をクリックして下さい。
スクリプトの実行とは、CADアプリのスクリプト処理を選んだファイル毎に処理を実行します。
たとえば、連続印刷する場合、CADアプリでPlotコマンドを実行するようにスクリプトファイルを作成しCADアプリ上で実行すれば、連続印刷が出来ます。
実際にどのように実行されるか説明します。
リストビューに基築き、環境設定で設定された実行スクリプトファイルを作成し、
CADアプリを自動で立ち上げ、起動時のオプションに作成した実行スクリプトファイルを
結びつけ、CADアプリが実行スクリプトファイルの内容にしたがって処理します。
処理が終われば、Endfile.dwg を読み込んで CAD アプリを終了します。

スクリプト実行時の順序として下記になります



実行スクリプトファイルの中は
リストビューで選んだファイルで
設定に応じた処理の内容になる

例として印刷の場合
Open コマンドでファイルを開き
Plotコマンドで印刷し
Close コマンドでファイルを閉じます
これを選んだファイル毎に
繰り返すようにする

スクリプトが正しく設定して無い場合やプリンタ・用紙の設定が正しくない場合は、CADアプリ上でエラーが発生します。この場合、CADアプリ上で「Esc」を連打してCADアプリのスクリプト処理を中断しCADアプリを終了して下さい。

D-Script からCADアプリを起動しますので、立ち上げておく必要はありません。
CADアプリが終了しないと D-Script の制御は戻ってきません。
よって、誤った設定になった場合はこのような状態で固まっているように見えます。
この際はCADアプリを手動で終了して下さい。

7・ファイル名で初期値を変更

まず、「メニュー」の「編集」の「F変換設定」をクリックすると下記の画面が表示します。

<input checked="" type="checkbox"/> 用紙サイズ	検索文字	出力先	用紙サイズ
	A3	Microsoft Print to PD	A3
	A4	Microsoft Print to PD	A4

<input checked="" type="checkbox"/> 図面方向	検索文字	図面方向
	_TATE	縦方向
	_YOKO	横方向

<input checked="" type="checkbox"/> 印刷領域	検索文字	図面方向
	_D	図面範囲(レイアウト)
	_O	オブジェクト範囲
	_L	表示画面

☒ 読込時に変更する OK

<設定内容の説明>

左側のチェックボックス(用紙サイズ・図面方向・印刷領域)は、この機能を使用するかしないかの設定です。
つまり、チェックしていなければこの変換機能は使用出来ません

検索文字は、ファイル名に設定する文字の事です。

出力先と用紙サイズは、出力先と用紙サイズ、ペアで設定して下さい。
それは、出力先によって用紙サイズが異なるためです。

下にあるチェックボックス(読込時に変更する)は、ファイル名を読み込んだ時点で上記の印刷設定を変更する機能です。
もし、このチェックが OFF の場合、「メニュー」の「編集」の「ファイル名で変換」をクリックすれば、ファイルを読み込んだ後でもこの機能は使えます。

<動作の説明>

ファイル	単	方向	上下逆
0001.dwg	F A	横	NO
0002.dwg	F A	横	NO
0003.dwg	F A	縦	NO
0004.dwg	F A	横	NO
0001.dwg	F A	横	NO
0002.dwg	F A	横	NO
0003.dwg	F A	縦	NO
0004.dwg	F A	横	NO
EndFile.dwg	F A	横	NO
0001.dwg	F A	横	NO
0002.dwg	F A	横	NO
0003.dwg	F A	縦	NO
0004.dwg	F A	横	NO
0001.dwg	F A	横	NO
0002.dwg	F A	横	NO
0003.dwg	F A	縦	NO
0004.dwg	F A	横	NO
0001.dwg	F A	横	NO
0002.dwg	F A	横	NO
0003.dwg	F A	縦	NO
0004.dwg	F A	横	NO

上記のようにファイル名が「0003」を検索して印刷方向を縦に自動で設定します。

<便利の使用方法>

検索する文字を、良く使用する文字にしないと思わない変換になりますので、
検索する文字をアンダーバーのような特殊文字にすることをおすすめします。

例として

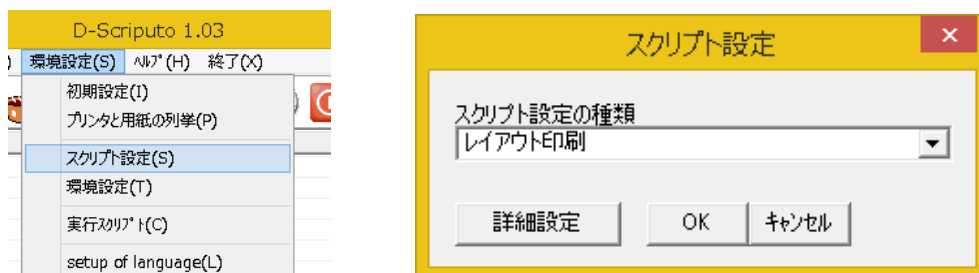
用紙サイズでA4とする場合、「_A4」

用紙サイズでA3とする場合、「_A3」

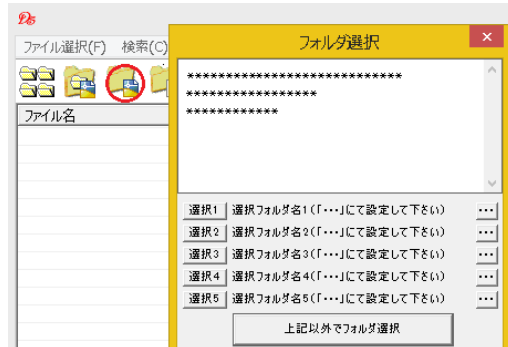
8・レイアウト印刷

V1.03 にて、この機能を追加しました。

まず、環境設定で、スクリプト設定で「レイアウト印刷」を選択する。



フォルダ選択でファイル名を設定します。




The image shows the main window of D-Scripto 1.03. It contains a table with columns for file names, dates, details, layout, output destination, paper, unit, direction, and printing area. The 'レイアウト' (Layout) column is highlighted with a red box, and the '出力先' (Output Destination) column is also highlighted. The table lists three files: a1002.dwg, a1003.dwg, and a1004.dwg, all with a date of 2005/03/25 and a layout of 0.

ファイル名	日付	詳細	レイアウト	出力先	用紙	単位	方向	上...	印刷領域	印刷
a1002.dwg	2005/03/25 ...	YES	0	*****	A1 (594x841mm)	M:ミリ	L:横	NO	L:レイアウト	F
a1003.dwg	2005/03/25 ...	YES	0	*****	A1 (594x841mm)	M:ミリ	L:横	NO	L:レイアウト	F
a1004.dwg	2005/03/25 ...	YES	0	*****	A1 (594x841mm)	M:ミリ	L:横	NO	L:レイアウト	F

赤枠のレイアウト文字は初期値として「0」が入ります。

この部分を右クリックすると編集出来ます。

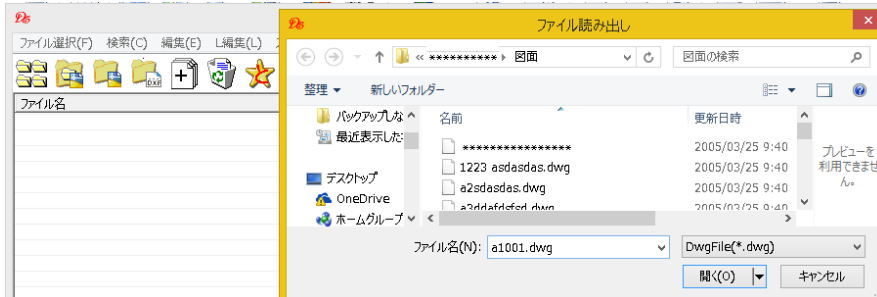
ここを図面で設定しているレイアウトの文字に修正します。

出力先・用紙等の設定を行った後に  をクリックして印刷します。

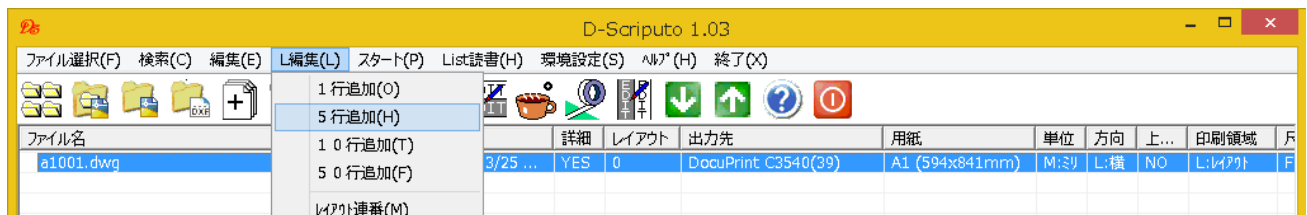
上記は1つのファイルで1つのレイアウトを印刷する場合の方法でした。

次に、1つファイルで複数のレイアウトを印刷する場合を説明します。

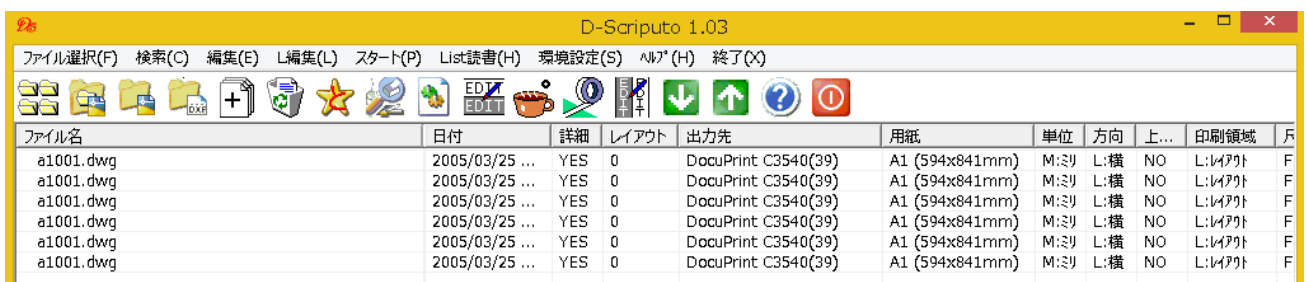
ファイル名を1つ選びます。



ファイルを選択した後で、L 編集の5行追加をクリックする



選んだ行を5個追加しました。(ファイル名などの項目はいっしょです)



下記のようにレイアウト文字を修正します。




下のように4行選んで、L 編集の「レイアウト連番」をクリックする



下のようにレイアウト文字が自動で連番になります。



同様に図面で設定しているレイアウトの文字に修正します。

出力先・用紙等の設定を行った後に  をクリックして印刷します。

実際にファイル名が同じなので、1行目でファイルを読み込み(Open コマンド)を行い
ファイルは閉じず(Close コマンド)2行目の処理をします。

最後の行で、ファイルは閉じます(Close コマンド)

次の行が違うファイル名の時もファイルは閉じます(Close コマンド)

その行で新しいファイル名であれば、読み込み(Open コマンド)を行います。

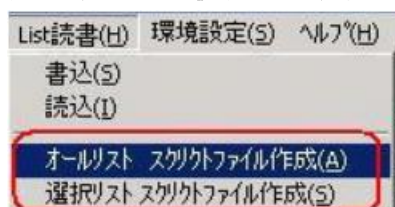
9・その他機能

その他の機能を下の表に説明します

項	機 能	操 作 方 法	動 作	備考
1	リスト内の図面 ファイル検索	メニューの「検索」「リスト内検索」 をクリック出てきた EditBox に図面ファイル名を 入力検索ボタンを押す。	リストの上からサーチし EditBox と一致した 場合リスト上で選択バーが ONする比較する文字数は EditBox の文字数となる	
2	プリンタと用紙 の列挙	メニューの「環境設定」 「プリンタと用紙の列挙」 をクリックしプリンタの列挙 のボタンで押す	OS が認識している全ての プリンタとその用紙サイズを 調べます。	起動時に 列挙します
3	実行スクリプトの 表示	メニューの「環境設定」 「実行スクリプト」をクリックする	前回印刷ボタンを押したときの スクリプトファイルをメモ帳で開 きます。	スクリプトファイル の再利用や 確認用
4	リストビューの 状態を保存	メニューの「リスト読書」「書込」を クリックする	リストビューの状態をファイル 化 して保存する	
5	リストビューの 状態の読出	メニューの「リスト読書」「読込」を クリックする	リストビューの状態を ファイル化した ファイルを読み込む	
6	毎行起動型 S 実行(1処理)	メニューのスタートの 毎行起動型 S 実行(1処理)を クリックする。	リストビューの1行分を スクリプトを作成し1行毎に CAD ソフトを起動させる方法	CAD ソフト終了 から 再起動は即行う
7	毎行起動型 S 実行(タイマ)	メニューのスタートの 毎行起動型 S 実行(タイマ)をクリ ックする。	リストビューの1行分を スクリプトを作成し 1行毎に CAD ソフトを起動 させる方法	CAD ソフト終了 から再起動する 間に タイマー処理 を入れた

10・スクリプトファイル作成のみ

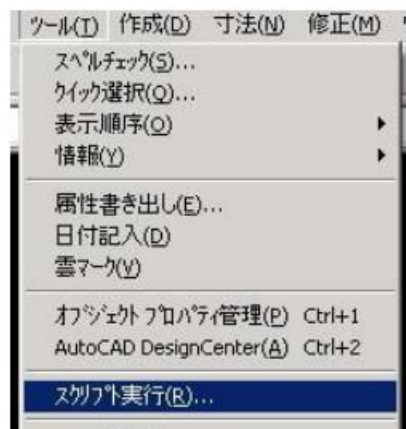
通常、D-Script で、スクリプトファイルを作成し、自動で CAD ソフトが立ち上がりスクリプト処理しますが、そのスクリプトファイルのみを他の名前で保存する方法です。これは D-Script を使用しないで、CAD アプリ上から実行スクリプトファイルを選んで処理する時に使用します。



メニューの List 読書の「オールリスト スクリプトファイル作成」又は「選択リスト スクリプトファイル作成」をクリックするとファイル名の名前を付けて、スクリプトファイルを作成します。「オールリスト スクリプトファイル作成」はリストビュー全てを作成する「選択リスト スクリプトファイル作成」はリストビューから選んだ項目を作成する

CADアプリからスクリプトを実行させる方法

CADアプリやバージョンによって下記の表記と異なるので、CADソフトのマニュアルを読んで下さい。



ツールのスクリプト実行をクリックする



作ったスクリプトファイルを選んで「開く」を押す。

すると
スクリプトが実行します。

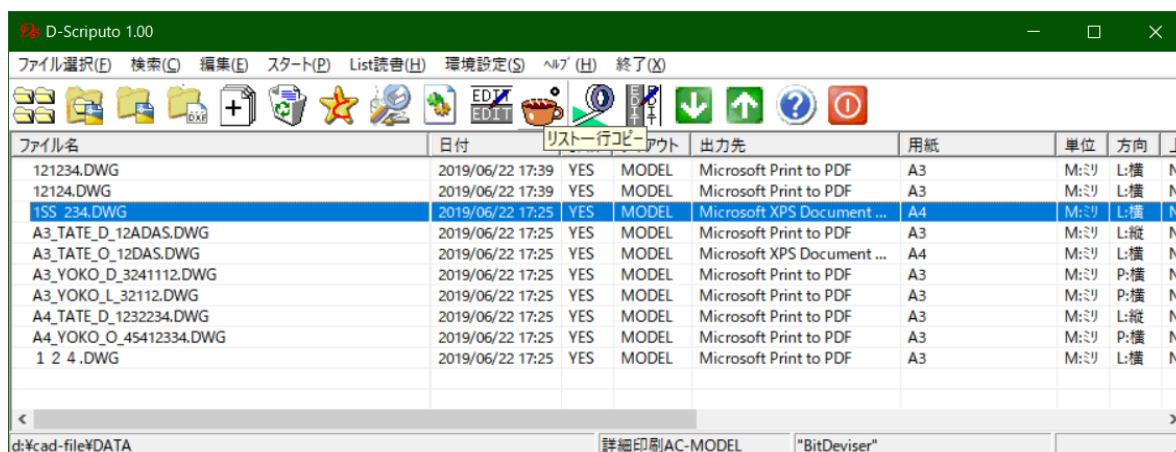
又、D-Script から処理を行って、うまく動作しない時、CAD アプリから実行スクリプトファイルを選んで実行してみてください。
どこで設定のミスがあったかわかりやすいと思います。

11・リストビューのファイルを上下に並び替え

ファイルをフォルダ単位で呼び込んだ場合、
順序は、呼び込んだ順序になりますが、これをソート(並び替え)したい場合下記の方法で可能です。

印刷する順序を変更するのに役に立つ機能です。

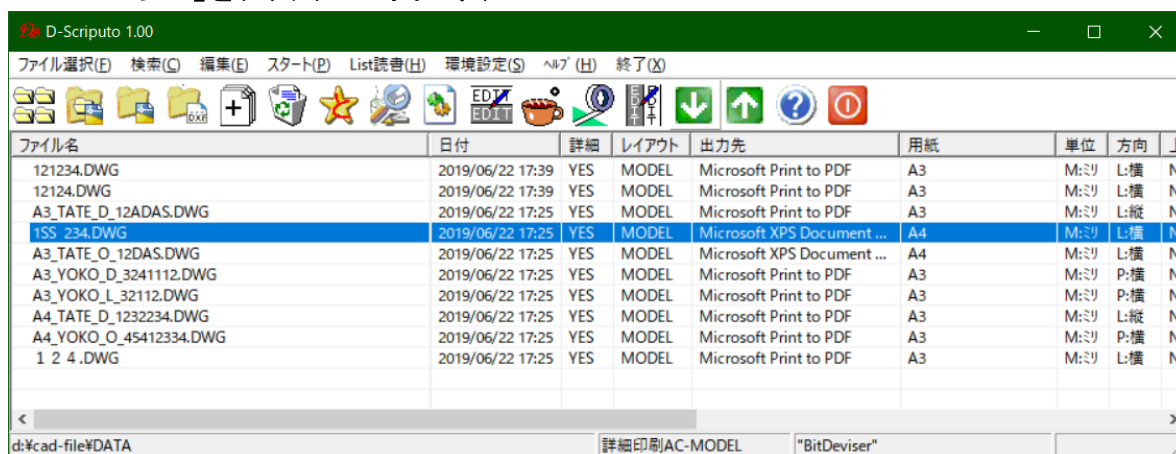
①まずは、ファイルの項目を選択する(文字反転)



②ツールバーの上へ又は「下へ」をクリックする



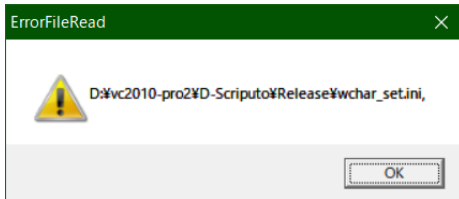
③下記のように選ばれた項目が移動します。
(ここでは「下へ」をクリックした図です)



移動するのは、ファイル名・パス名・時刻・設定内容すべて移動します。

12・トラブルの原因と対応方法

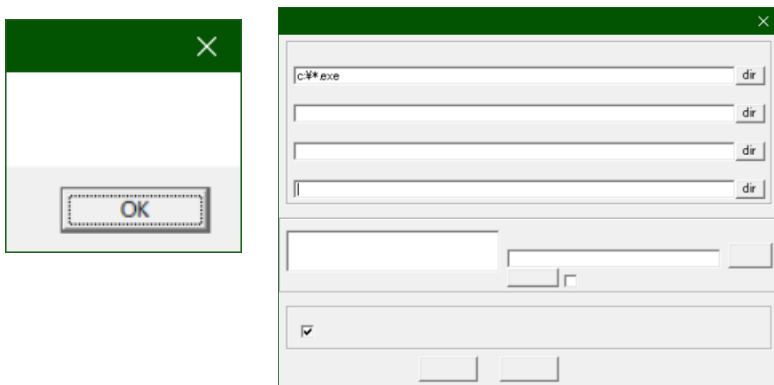
1・起動時に下記のメッセージが出る



原因: 起動時に「wchar_set.ini」のファイルがない

対応方法: このソフトをダウンロードした時に「wchar_set.ini」のファイルがあります。これを D-Script.exe と同じ場所へ入れる。

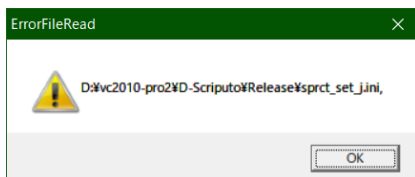
2・画面が下記のように文字が出ない場合



原因: D-Script は多言語対応になっており、その文字列は「wchar_set.ini」のファイルがあります。「wchar_set.ini」が読みていないか、ファイルの内容が壊れている場合

対応方法: 正しい「wchar_set.ini」ファイルを D-Script.exe と同じ場所へ入れる。

3・画面に下記のメッセージが出る場合



原因: 「sprct_set_j.ini」などの sprct_set_*.ini ファイルがない

対応方法: このソフトをダウンロードした時に「sprct_set_j.ini」などの sprct_set_*.ini ファイルがあります。これを D-Script.exe と同じ場所へ入れる。

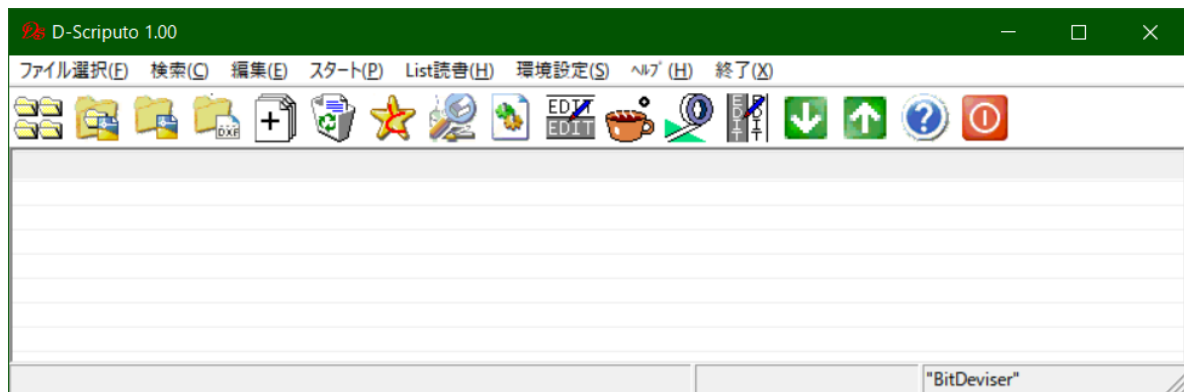
sprct_set_j.ini は日本語用スプリクト設定内容

sprct_set_e.ini は英語用スプリクト設定内容

sprct_set_k.ini は韓国用スプリクト設定内容

sprct_set_c.ini は中国用スプリクト設定内容

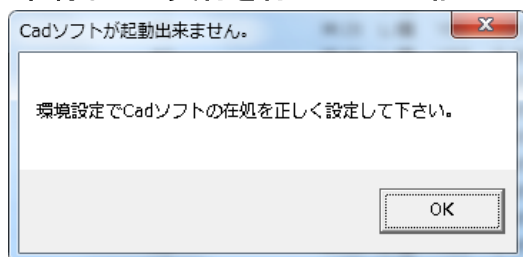
4・下記のようにリストビューのカラム(項目)に文字が出ない



原因:「sprct_set_j.ini」などの sprct_set_*.ini ファイルがない

対応方法: このソフトをダウンロードした時に「sprct_set_j.ini」などの sprct_set_*.ini ファイルがあります。これを D-Script.exe と同じ場所へ入れる。
もしくはスプリクト設定が無の状態なので、はじめから設定を行う

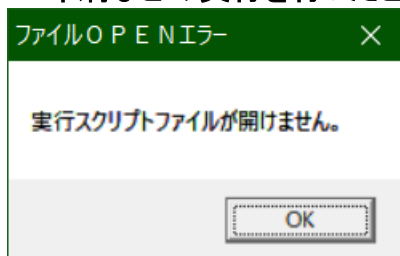
5・印刷などの実行を行ったとき下記のメッセージがでる



原因: D-Script で印刷などの処理はしません。あくまでも CAD アプリが実行します。
よって D-Script から CAD アプリが起動出来なかった。

対応方法: 環境設定の「Cad アプリの EXE ファイルがあるパス名を指定」を正しく設定する。
C:¥Program Files を参照してください
A 社なら、C:¥Program Files¥a???cad****¥a???d.exe
B 社なら、C:¥Program Files¥b????cad****¥b????cad.exe

6・印刷などの実行を行ったとき下記のメッセージがでる



原因: 実行スクリプトファイルが開かない。

対応方法: 環境設定の「実行スクリプトファイルがあるパス名を指定」を正しく設定する。
他のソフトで実行スクリプトファイルを開かない

7・印刷などの処理中に動作が止まる

原因:実行スクリプトファイルに書いた内容が CAD アプリのコマンド処理に対応して正しくない場合に発生します。

対応方法:スプリクト設定の詳細設定を正しく設定する。

基本は、オートキャドやブリックスで印刷などの動作を確認していますが、新バージョンにコマンドの対応が異なる場合があります。

その際は、その都度変更が必要です。

一度、実行スクリプトファイルを作成し、CADアプリからスクリプトを実行するとCADアプリのコマンドラインに出てくるメッセージを見れば、どこが問題かわかりやすいです。

13・ご意見など連絡先

そのソフトに関するご意見、ご感想、ご要望は下記のメールアドレスでご連絡するようにお願いします。



バグレポートは、同じ環境でないと解決出来ません。

スプリクトの設定ミスで動作しない場合は

CAD アプリのコマンドラインの情報があれば、問題個所がわかるかも知れません。